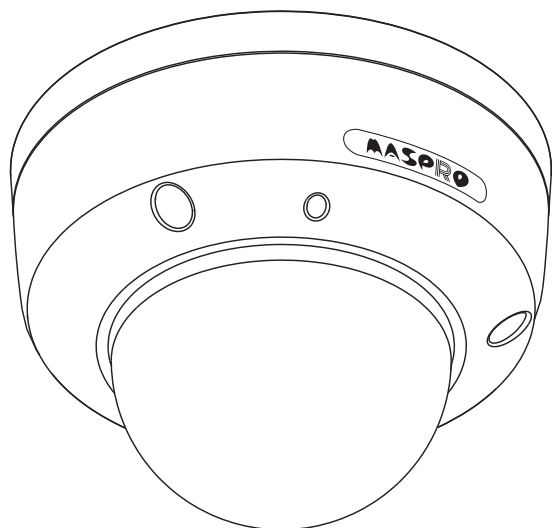


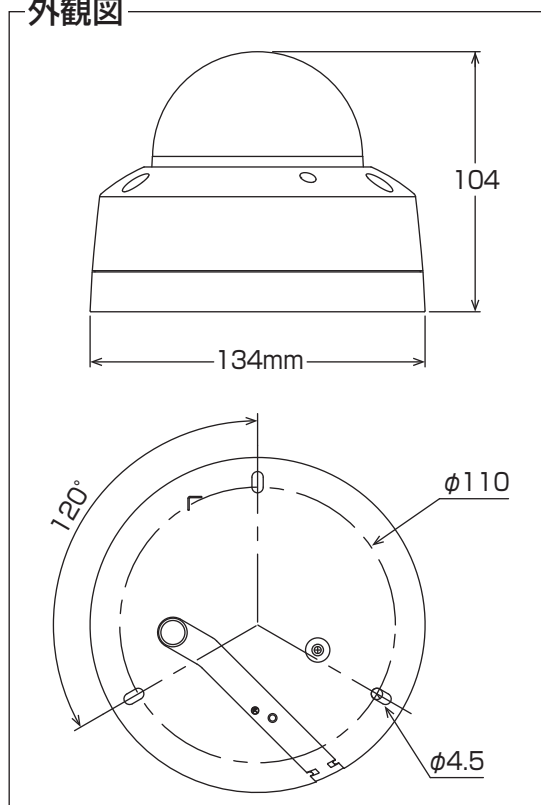
TS4DC2

防じん・防水(IP66)のドームカメラです。
屋内はもちろん、屋外にも対応できます。



本機に対応したNVRなどの録画機器でご使用になる場合は、本機の取扱説明書だけでなく、録画機器の取扱説明書もご覧ください。

外観図



付属品

ねじ	3本
アンカー (設置用)	3本
ねじ(アース接続用)	1本
トルクスドライバー (T10)	1本
アライメントステッカー	1部
シールリング	1個
ケーブルグランド	1セット
キャップ	1個
乾燥剤	1個

●本機は、防犯を保証する機器ではありません。

ご使用中に、人命・財産などに損害が生じて、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

●本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。

撮影された画像が、公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、画像の使用による損害が生じて、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

●本機の故障、誤作動、接続機器の不具合などの原因により、SDカードや外部録画機器などへ、正常に録画できなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。

目次

はじめに

特長	3
ご使用になる前に	4
microSDカードについて	4
ハードウェアリセット	4
取扱説明書の作成環境	5
使用環境(2022年12月現在)	5
商標について	5

接続する

インターネット接続	6
RTSPプレーヤーからのアクセス	7
VIVOTEK録画ソフトウェアからのアクセス	7

操作する

ホーム画面	8
-------	---

設定する

クライアント設定	10
構成	11
システム > 一般設定	12
システム > ホームページのレイアウト	13
システム > ログ	15
システム > パラメーター	15
システム > メンテナンス	16
メディア > 画像	17
メディア > ビデオ	26
メディア > オーディオ	29
ネットワーク > 一般設定	30
ネットワーク > ストリーミングプロトコル	31
ネットワーク > DDNS	33
ネットワーク > QoS	35
ネットワーク > SNMP	36
ネットワーク > FTP	37
ネットワーク > Bonjour	37
ネットワーク > ユーザーアカウント	38
セキュリティ > HTTPS	39
セキュリティ > アクセスリスト	39
セキュリティ > IEEE 802.1x	41
セキュリティ > その他	42
PTZ > PTZ設定	43
イベント > イベント設定	44
アプリケーション > モーション検出	54
アプリケーション > タンパー検出	56
アプリケーション > 音声検知	57
アプリケーション > パッケージ管理	58
録画 > 録画設定	59
ストレージ > ストレージ管理	61
ストレージ > コンテンツマネージメント	63

必要なとき

トレンドマイクロ IoT セキュリティーライセンス契約	66
ダイナミックドメインネームシステム ライセンス契約	77
技術ライセンス通知	78
規格表	79

●フルハイビジョンカメラ(解像度1920H×1080V)

有効画素数が約200万画素のフルHD対応カメラですから、高画質映像を撮影することができます。

●夜間撮影に対応

赤外線LEDを搭載していますから、夜間でも30m離れた場所まで撮影することができます。※1

●光学ズームに対応

光学ズームカメラを搭載していますから、離れた場所の画像を高画質で撮影することができます。

●電動フォーカスレンズを搭載

ズーム設定を変更しても[オートフォーカスを実効]ボタン(p.24)をクリックするだけでピントを合わせることができます。

●動体検知に対応

撮影画像に動きがあった場合に録画を開始したり、Emailを送信したりすることができます。※2

●いたずら検知機能に対応

カメラの向きを変えられたり、覆われたり、スプレー塗料を吹付けられたりした場合に、録画を開始したり、Emailを送信したりすることができます。※2

●防じん・防水(IP66)に対応

屋外にも対応できます。(完全防水ではありませんから、軒下などの直接雨がかからない場所をお勧めします)

●耐衝撃性能IK10に対応

40cmの高さから落ちる5kgの衝撃に耐えることができます。

●microSDカードスロットを搭載

カメラの映像をmicroSDカードに録画することができます。

●マイクを搭載

映像と音声を録画することができます。

※1 暗所で良好に撮影が可能な範囲は約10mになります。

※2 Emailを送信する場合は、インターネットの接続が必要です。

microSDカードについて

本機にmicroSDカードを挿入することで、カメラの映像を録画できます。
また、何らかの原因でNVRなどの録画サーバーとの通信が途切れ、録画が出来ない状況において、一時的にmicroSDカードに録画をすることもできます。
本機は、下記のmicroSD規格によるmicroSDカードが使用できます。

カードの種類	microSD/SDHC/SDXCメモリーカード(クラス10以上の産業用をご使用ください)
メモリー容量	最大1TB

- 上記規格を満たす、すべてのmicroSDカードの作動を保証するものではありません。
- microSDカードは不良セクタが発生する場合があります。その状態でデータの記録が繰り返されると、記録可能領域が異常となります。安定してご使用いただくため、2週間に一度、フォーマットすることをお勧めします。
- microSDカードは消耗品ですから定期的に交換することをお勧めします。また、交換作業も大変なため監視カメラとして常時録画に使用する場合は、本機に対応したNVR(市販品)などの録画機器での録画をお勧めします。
- 64GB以上のmicroSDカードを使用する場合は、「SDカード管理」(p.61)の「SDカードフォーマット」でExt4フォーマットを行なってください。

ハードウェアリセット

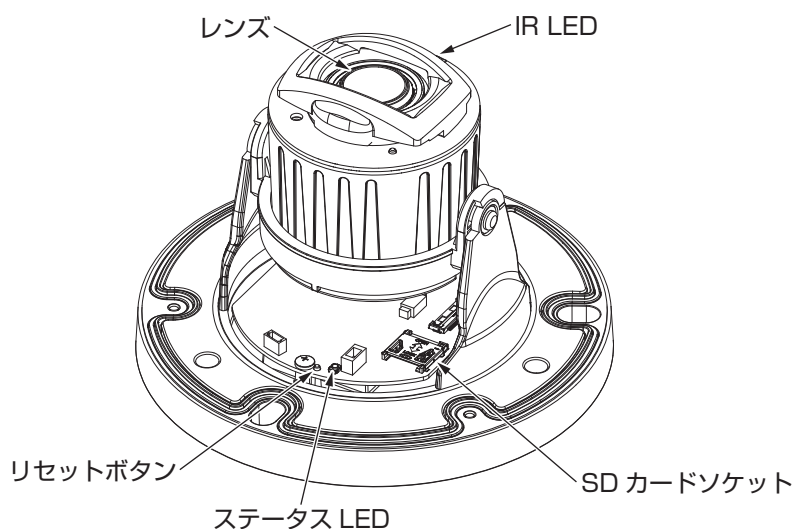
リセットボタンは、システムの再起動と出荷時のデフォルト設定に初期化するときを使用します。操作ができないなどシステムに異常がある場合は、再起動してください。再起動してもシステムの問題が解決しない場合は、出荷時の設定に初期化してから、再度、初期設定をしてください。

リセット システムを再起動します

- リセットボタンを1回押してリセットボタンを放します。
- ステータスLEDが消灯しますから、ステータスLED[赤]が点灯してから1分程度お待ちください。

初期化リセット すべての設定が工場出荷時の設定に戻ります

- リセットボタンをステータスLED[赤・緑]が点滅するまで長押しします。
- ステータスLED[赤]が点灯、[緑]が点滅するまでお待ちください。



取扱説明書の作成環境

OS : Windows 10
ブラウザー : Microsoft Edge (IEモード表示)

使用環境(2022年12月現在)

OS : Windows 10、Windows 11
ブラウザー : Microsoft Edge、Microsoft Edge (IEモード)、Google Chrome
・ Microsoft Edge (IEモード表示)を使用する場合は、プラグインをインストールします。
・ Microsoft Edge (IEモード非表示)、Google Chromeを使用する場合は、クライアント設定ページと一部の機能(カメラのアクセスリスト)などは表示されません。

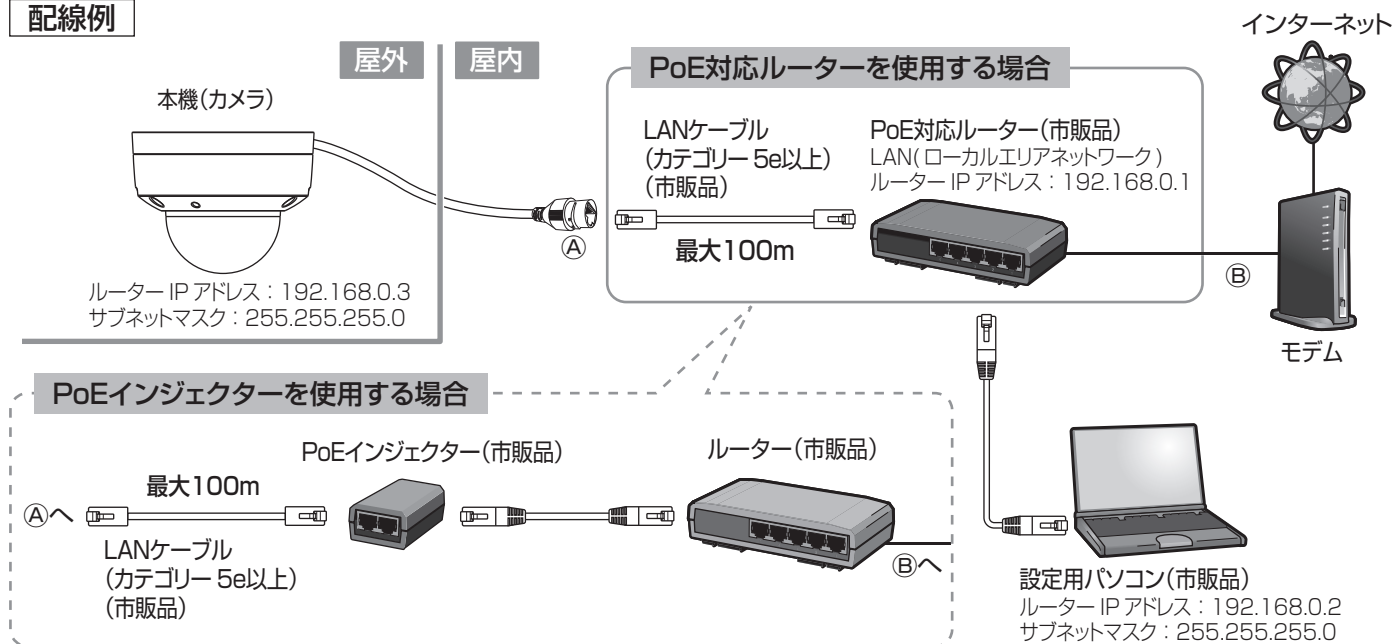
商標について

- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- GoogleおよびGoogle Chromeは、Google LLCの商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

インターネット経由でネットワークカメラをセットアップする前に、ルーターがあることを確認してください。

1. ネットワークカメラをルーターの背後に接続します。

配線例



2. この配線例の場合、ネットワークカメラのLAN IPアドレスが192.168.0.3であり、ルーターは以下のポートの通信をネットワークカメラへ転送します。

- ・HTTPポート: 80(デフォルト)
- ・RTSPポート: 554(デフォルト)
- ・映像用RTPポート: 5556(デフォルト)
- ・映像用RTCPポート: 5557(デフォルト)

●ネットワーク上でポート番号を変更した場合は、それに応じてルーターのポートを開放してください。
ルーターでポートの通信を転送する方法についてはルーターの取扱説明書をご覧ください。

3. ISP(Internet Service Provider)から割当てられたルーターのグローバルIPアドレスを確認し、グローバルIPとHTTPポートを使用してインターネットからネットワークカメラにアクセスします。
詳しくは取扱説明書の「ネットワーク > 一般設定」(p.30)をご覧ください。

固定IPを使用したインターネット接続

ネットワークカメラに固定IPを使用する必要がある場合は、この接続タイプを選択してください。
詳しくは「ネットワーク > 一般設定」(p.30)をご覧ください。

ネットワーク構成オプション(ストリーミングポートなど)の詳細については、「ネットワーク > 一般設定」(p.30)をご覧ください。
また、ルーターがUPnPポート転送機能に対応する場合に限りNATトラバースル機能として自動ポート転送することができます。

ネットワークタイプ

☒ LAN

☒ 自動的にIPアドレスを取得

☐ 固定IPアドレスを使用

☒ UPnP プレゼンテーションを有効にする

☒ UPnPポート転送を有効にする

☐ PPPoE

☐ 有効 IPv6

機器の構成をしています。ブラウザのアクセス先は以下に変更されます http://192.168.10.102:80/
接続できない場合は、手動でブラウザのURLフィールドにIPアドレスを入力してサーバーに接続する必要があります。

保存

RTSPプレーヤーからのアクセス

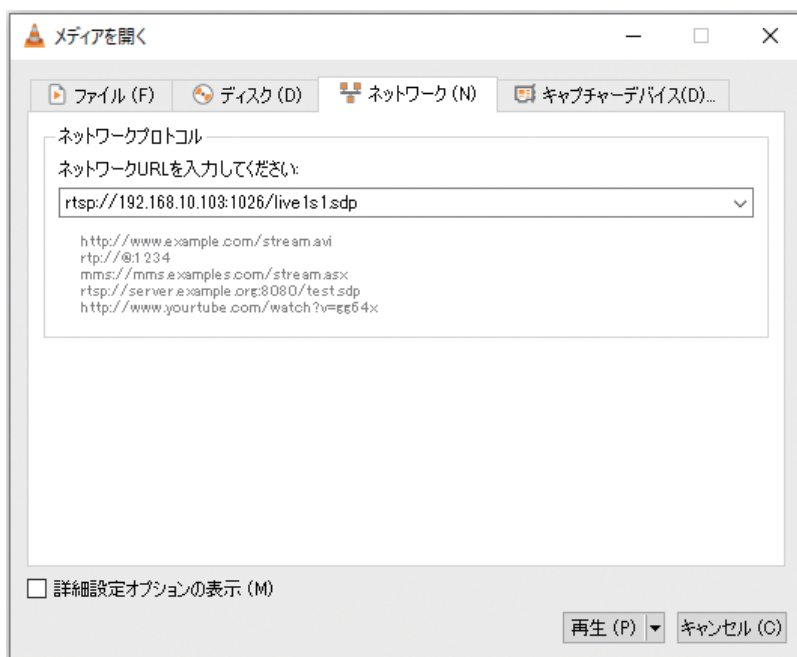
RTSPプレーヤーを使用してストリーミングメディアを表示するには、VLC media playerを使用します。

- VLC media playerのWebサイトからダウンロードしてください。



VLC media player

- 1.VLC media playerを起動します。
 - 2.[メディア]>[ネットワークストリームを開く]>[ネットワーク]を選択します。
 - 3.ネットワークプロトコルにURLを入力して[再生]をクリックし、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックします。
(アドレスの形式 rtsp://[IPアドレス]:[rtspポート]/[ストリームのアクセス名])
- ストリームのアクセス名の設定方法については、「ネットワーク > ストリーミングプロトコル」の「RTSP」(p.32)をご覧ください。

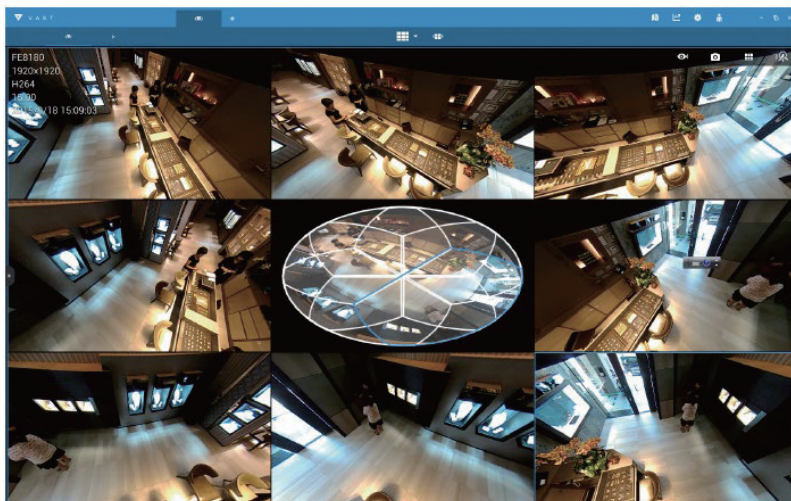


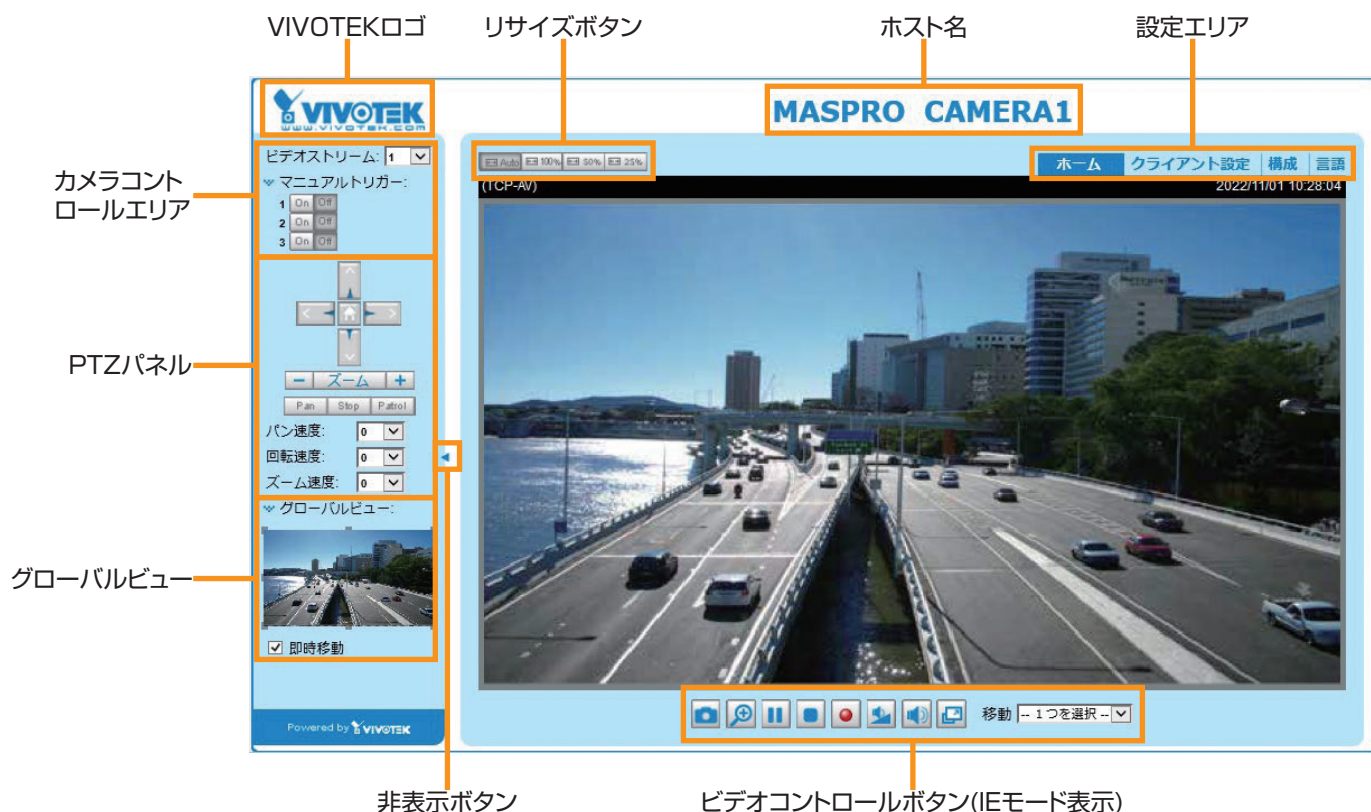
VIVOTEK録画ソフトウェアからのアクセス

VIVOTEKのWebサイトからVAST2(監視、録画ソフト)をダウンロードして使用することができます。
このソフトウェアを使用すると、複数のネットワークカメラの同時監視とビデオ記録が可能です。

ソフトウェアをインストールして起動し、チャンネルリストにネットワークカメラを追加します。

- ソフトウェアの使用方法については、ソフトウェアのマニュアルを下記URLからダウンロードしてご覧ください。
<https://www.vivotek.com>
- VAST2のソフトウェアは日本語言語に対応していますが、日本語版のマニュアルはありません。あらかじめご了承ください。
- VAST2についてはサポート対象外となります。お問い合わせいただきましても、対応できないことをご了承のうえ、ご使用ください。





VIVOTEKロゴ

インターネットに接続されている場合、ロゴをクリックするとVIVOTEKのWebサイトにリンクします。

ホスト名

監視環境に複数台のネットワークカメラを設置する場合は、ホスト名の変更をお勧めします。

カメラコントロールエリア

ビデオストリーム : 複数のストリーム(ストリーム1、2、3)を同時にサポートしています。いずれかを選択してライブ表示することができます。詳しくは「ストリーム」(p.26)をご覧ください。

マニュアルトリガー : 登録されたイベントをON、OFFするときに使用します。この機能を使用する場合は、イベントを設定してください。詳しくは「イベント > イベント設定」(p.44)をご覧ください。

設定エリア

クライアント設定 : クライアントの設定をすることができます。詳しくは「クライアント設定」(p.10)をご覧ください。

構成 : ネットワークカメラの設定をすることができます。詳しくは「構成」(p.11)をご覧ください。管理者だけがネットワークカメラを設定できるように、パスワードを設定することをお勧めします。

言語 : 言語を変更することができます。

非表示ボタン

コントロールパネルの表示/非表示を切り換えることができます。

リサイズボタン

Auto : ビデオセルを自動的にモニターサイズに合わせます。
100% : 実際の画面サイズで表示されます。
50% : 実際の画面サイズの50%に変更されて表示されます。
25% : 実際の画面サイズの25%に変更されて表示されます。

PTZパネル(デジタルズーム)

∧・∨・<・> : ズームされている画面を移動します。
ホーム : ズームされている画面を全画面表示に戻します。
ズーム - + : ズームの倍率を変更します。
Pan : ズームされている画面からPan作動をします。
Stop : Pan、Patrol作動を中止します。
Patrol : PTZ設定の巡回位置に登録した画面位置を巡回します。詳しくは「PTZ > PTZ設定」(p.43)をご覧ください。
パン速度 : ズームされている画面で、<・>ボタンをクリックしたときの移動する幅を設定します。
回転速度 : ズームされている画面で、∧・∨ボタンをクリックしたときの移動する幅を設定します。
ズーム速度 : ズームの- +ボタンをクリックしたときのズームする幅を設定します。

グローバルビュー

表示画面の領域を変更することができます。

即時移動：ズームされている画面でPTZパネル操作時の移動時間を即時に反映します。

ビデオコントロールボタン

-  (スナップショット)：静止画をキャプチャーして保存します。キャプチャーした画像はポップアップウィンドウに表示されるため、画像を右クリックし[名前を付けて画像を保存]を選択して(*.jpgまたは*.bmp)形式で保存します。
-  (デジタルズーム)：[Disable digital ptz]のチェックを外すと、ズーム操作ができます。
ズームレベルを調整するには、スライダバーをドラッグします。
●Microsoft Edge(IEモード表示)のみ対応
-  (一時停止)：ストリーミング転送を一時停止します。一時停止中に  (再生)をクリックするとストリーミング転送を再開します。
●Microsoft Edge(IEモード表示)のみ対応
-  (停止)：ストリーミング転送を停止します。停止中に  (再生)をクリックするとストリーミング転送を再開します。
-  (MP4録画)：動画をMP4ファイル形式でパソコンに録画します。  (録画停止)をクリックすると、保存先を指定する画面が表示されます。保存先を指定して[保存]をクリックして録画動画を保存します。
●Microsoft Edge(IEモード表示)のみ対応
-  (ボリューム)：音量を調整します。
-  (ミュート)：音声をミュートします。ミュート中に  をクリックするとミュートを解除します。
-  (全画面表示)：全画面モードに切替えます。Escボタンを押すと、通常モードに戻ります。

Microsoft Edge(IEモード表示)のみ対応しています。

H.265/H.264 メディアオプション

ビデオおよびオーディオ

H.265/H.264 プロトコル オプション

TCP

MP4保存オプション

フォルダ: C:\Record 参照...

 ファイル名の接頭辞: CLIP

☐ ファイル名の最後に日付と時間を追加します

ローカルストリームバッファ時間

0 ミリ秒

ジョイスティック設定

選択ジョイスティック:

 キャリブレーション コンフィグアボタン

保存

① H.265/H.264メディアオプション

「ビデオおよびオーディオ」、「ビデオのみ」、「オーディオのみ」から選択してください。

② H.265/H.264プロトコルオプション

ネットワーク環境により、H.265/H.264ストリーミングでは、次の4つの伝送モードを選択できます。

- UDPユニキャスト** : リアルタイムな音声と映像のストリームを可能にします。ただし、バーストラフィックによってパケットロスが発生し、画像が破損する場合があります。UDP接続はリアルタイムな応答が必要で映像品質がそれほど重要ではない場合に適しています。サーバーに接続する各ユニキャストクライアントは、それぞれが帯域幅を使用します。このため、一度にアクセスできるネットワークカメラは最大10台までです。
- UDPマルチキャスト** : マルチキャスト対応のルーターはストリーミングメディアを要求するすべてのクライアントにネットワークパケットを転送することができます。これにより、複数のクライアントに同時にサービスを提供しながらもネットワークカメラの転送負荷を軽減することができます。この機能を使用するには、マルチキャストストリーミングを有効にするようにネットワークカメラを設定する必要があります。詳しくは「ネットワーク > ストリーミングプロトコル」の「RTSP」(p.32)をご覧ください。
- TCP** : ストリーミングデータのより確実な配信と高い映像品質を提供します。ただし、リアルタイムなストリーミングには、UDPプロトコルが適しています。
- HTTP** : ある一部のネットワーク環境において、特定のポートを開くことなくTCPと同じ品質でストリーミングを行うことができます。ファイアウォール内のユーザーは、このプロトコルを使用してデータのストリーミングを許可することができます。

③ MP4保存オプション

フォルダ : 録画したビデオファイルの保存先は指定できません。録画停止時に保存先を指定してください。

ファイル名の接頭辞 : ビデオファイル名の先頭に付加するテキストを入力します。(英数字で入力します)

ファイル名の末尾に日付と時間を追加する場合はチェックを入れてください。

例: CLIP_20221013-183925.mp4(YYYYMMDD-HHMMSS)

④ ローカルストリームバッファ時間

帯域幅が不安定な場合、ライブストリーミングに遅延が発生したり、ビデオストリーミングがスムーズに行われなかったりすることがあります。この設定を有効にすると、ライブストリーミングはパソコンのキャッシュメモリに一時的に保存され、数ミリ秒後にライブビューウィンドウで再生されます。これにより、ストリーミングがよりスムーズに再生されます。

例: 3000ミリ秒に設定すると、ストリーミングは3秒間遅延します。

⑤ ジョイスティック設定

本機では使用しません。

設定メニューをクリックすると詳細項目が表示され、詳細項目をクリックすると、該当する詳細項目の情報が表示されます。

システム > 一般設定

システム

一般設定

ホームページのレイアウト

ログ

パラメーター

メンテナンス

メディア

ネットワーク

セキュリティ

PTZ

イベント

アプリケーション

録画

ストレージ

Version: 0223b

ファームウェアバージョン

詳細項目の情報

設定メニュー 一覧

システム	
一般設定	(p.12)
ホームページのレイアウト	(p.13)
ログ	(p.15)
パラメーター	(p.15)
メンテナンス	(p.16)
メディア	
画像	(p.17)
ビデオ	(p.26)
オーディオ	(p.29)
ネットワーク	
一般設定	(p.30)
ストリーミングプロトコル	(p.31)
DDNS	(p.33)
QoS	(p.35)
SNMP	(p.36)
FTP	(p.37)
Bonjour	(p.37)
ユーザーアカウント	(p.38)

セキュリティ	
HTTPS	(p.39)
アクセスリスト	(p.39)
IEEE 802.1x	(p.41)
その他	(p.42)
PTZ設定	
PTZ設定	(p.43)
イベント	
イベント設定	(p.44)
アプリケーション	
モーション検出	(p.54)
タンパー検出	(p.56)
音声検知	(p.57)
パッケージ管理	(p.58)
録画	
録画設定	(p.59)
ストレージ	
ストレージ管理	(p.61)
コンテンツマネージメント	(p.63)

システム > 一般設定

システム

ホスト名:

MASPRO CAMERA1

☐ LEDインジケータをオフにする

システム時間

タイムゾーン:

GMT+09:00 大阪、札幌、東京、ソウル、ヤクーツク

注記: お客様の地域の夏時間規則をメンテナンスページにアップロードするか、カメラのデフォルト値を使用することができます。

☒ 現在の日付と時刻を保存

☐ コンピュータ時間と同期

☐ マニュアル

☐ 自動

保存

① システム

ホスト名: ネットワークカメラの名前を入力します。

LEDインジケータをオフにする: 本体内部のステータスLEDを消灯させます。

② システム時間

タイムゾーン : [GMT+9:00 大阪、札幌、東京、ソウル、ヤクーツク] に設定してください。カメラや録画装置に内蔵されている時計は精度の高い時計ではないため、タイムサーバーを設置することをお勧めします。

現在の日付と時刻を保存: ネットワークカメラの現在の設定日時を維持します。カメラ内蔵のリアルタイムクロックは、電源を切断しても設定日時を保持します。

コンピュータ時間と同期: ネットワークカメラの日付と時間をローカルコンピューターと同期します。カメラはパソコンの日時に更新されて表示します。

マニュアル: 日付と時間を入力して表示します。

自動: NTPサーバーに定期的に問合せでネットワークカメラの時間を同期して設定します。

・NTPサーバー: NTPサーバーのIPアドレスまたはドメイン名を割当てます。

・アップデートの間隔: NTPサーバーの問合せ間隔を、1時間、1日、1週間、1ヶ月で設定します。

システム > ホームページのレイアウト

一般設定

一般設定

テーマオプション



ビデオストリーム 1

マニユアルトリガー:

MASPRO CAMERA1





Powered by VIVOTEK

☐ Powered by VIVOTEKを表示しない

ロゴ画像

メインページ用にカスタマイズロゴ(GIF、JPG、PNG)をアップロードできます。既存ロゴをリブレースするために、160x50ピクセルにリサイズされます。

☐ デフォルト
 ☒ カスタム



参照...

アップロード

ロゴリンク:

http://www.vivotek.com

カスタマイズボタン

☒ マニユアルトリガーボタンを表示

保存

この部分をページから削除する場合は、「Powered by VIVOTEKを表示しない」にチェックを入れます。

① ロゴ画像

ホーム画面の上部に表示されるロゴを変更できます。

次の手順で新しいロゴをアップロードします。

1. [カスタム]を選択すると[参照]が表示されます。
2. [参照]からアップロードするロゴを選択します。
3. [アップロード]をクリックして、既存のロゴを新しいロゴに置換えます。
4. 必要に応じてロゴクリック時にリンクされるURLを[ロゴリンク]に入力します。
5. [保存]をクリックして設定を有効にします。

② カスタマイズボタン

ホーム画面上のマニユアルトリガーボタンを非表示にしたい場合は、チェックを外してください。

13

テーマオプション

一般設定 テーマオプション

VIVOTEK
www.vivotek.com

MASPRO CAMERA1

映像タイトル
のフォントの色

映像エリア
のフォントの色

ビデオストリーム 1 ▼

マニュアルトリガー:

BK色管理エリア

BK色設定エリア

Powered by VIVOTEK

映像エリア

フレームの色

テーマ

プリセットパターン

カスタム

カラー

フォント色: #000000

設定エリアのフォントの色: #FFFFFF

映像タイトル
のフォントの色: #098BD6

BK色管理エリア: #C4EAFF

BK色設定エリア: #0186D1

BK色映像エリア: #C4EAFF

フレームの色: #0186D1

セレクト

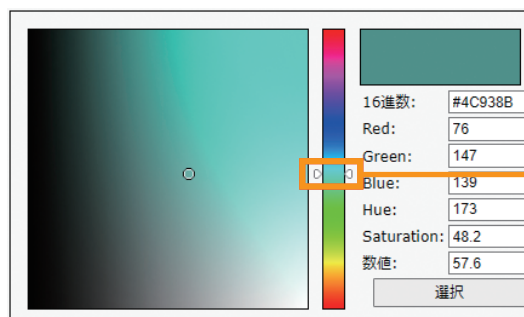
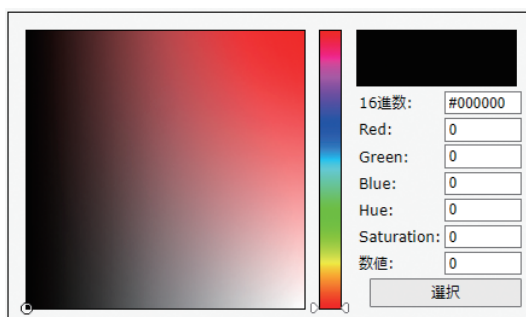
保存

テーマ

3つのプリセットパターンから1つを選択すると、新しいレイアウトがプレビューフィールドに表示されます。設定が完了したら[保存]をクリックして設定を有効にします。カスタムを選択すると、ホーム画面をカスタマイズできます。

次の手順でカスタマイズします。

1. テーマの[カスタム]を選択します。
2. カラーの変更したい箇所の[セレクト]をクリックします。
3. 以下のようなパレットウィンドウが表示されます。



スライダーバー

4. スライダーバーをドラッグして調整し、パレットから目的の色を選択します。
5. 選択した色が、右上のプレビュー枠に表示されます。
6. [選択]をクリックしてパレットウィンドウを閉じます。
7. [保存]をクリックして設定を有効にします。

システム > ログ

ログサーバー設定

☒ リモートログを有効にする

IPアドレス:

ポート:

514

保存

ログサーバー設定

システムログをバックアップしてリモートサーバーに送信するようネットワークカメラを設定します。

次の手順でリモートログを設定します。

1. [リモートログを有効にする]にチェックを入れます。
2. [IPアドレス]にリモートサーバーのIPアドレスを入力します。
3. [ポート]にリモートサーバーのポート番号を入力します。
4. [保存]をクリックして設定を有効にします。

- 本機能でシステムログファイルをバックアップしてリモートサーバーに送信するようネットワークカメラを設定できます。
この機能を使用する前に、任意のログ記録ソフト(市販品)などをインストールして、ネットワークカメラからシステムログメッセージを受信することをお勧めします。
- システムログ、アクセスログ、VADPログを表示することができます。ログはネットワークカメラのバッファ領域に保存され、一定の量に達すると上書きされます。

システム > パラメーター

パラメーターの表示ページには、システム全体のパラメーターが一覧表示されます。

システム > メンテナンス

一般設定

一般設定 インポート/エクスポートファイル

— ファームウェアをアップグレード —

ファームウェアファイル: 参照... アップデート

— システムリブート —

再起動

— 元に戻す —

次の設定以外のすべての設定を工場出荷時のデフォルト値に回復する

☐ ネットワーク ☐ 日光 時間の節約 ☐ カスタム言語

☐ VADP ☐ フォーカス位置

元に戻す

① ファームウェアをアップグレード

ネットワークカメラのファームウェアのバージョンアップをすることができます。(完了まで数分かかります)
注意：故障の原因となりますから、バージョンアップ中にネットワークカメラの電源をオフにしないでください。

次の手順でファームウェアのバージョンアップをします。

1. VIVOTEKのWebサイトから最新のファームウェアをダウンロードします。
2. [参照]をクリックして、ダウンロードしたファームウェアを指定します。
3. [アップデート]をクリックします。

●バージョンアップが完了するとネットワークカメラは自動的に再起動します。再度サインインしてください。

② システムリブート

[再起動]をクリックすると、ネットワークカメラを再起動することができます。
再起動後に接続ができない場合は、ブラウザのURLにIPアドレスを入力して接続してください。

③ 元に戻す

[元に戻す]をクリックすると、ネットワークカメラを工場出荷設定に戻すことができます。

ネットワーク：この項目をチェックすると、ネットワークの設定を保持することができます。
日光 時間の節約：この項目をチェックすると、サマータイムの設定を保持することができます。
カスタム言語：この項目をチェックすると、カスタム言語の設定を保持することができます。
VADP：この項目をチェックすると、VADPモジュールと関連する設定を保持することができます。
フォーカス位置：この項目をチェックすると、以前に保存したレンズの焦点位置を保持することができます。

●いずれの項目もチェックされていない場合は、すべての設定が工場出荷状態に戻ります。

インポート/エクスポートファイル

この機能は使用しません。

メディア > 画像

一般設定

一般設定
照明装置
画像設定
露出
フォーカス
プライバシーマスク

ビデオの設定

ビデオタイトル

☐ ビデオとスナップショットにタイムスタンプとビデオタイトルを表示する。

イメージ上のタイムスタンプと動画タイトルの位置:

タイムスタンプと動画タイトルのフォントサイズ:

ビデオフォント (.ttf):

カラー: ☐ 白黒 ☒ カラー

電力線周波数: ☐ 50 Hz ☒ 60 Hz

ビデオの位置: ☐ 反転 ☐ ミラー

☐ 回転

昼間/夜間設定

☒ 夜景モードのB/Wに切り替え

IRカットフィルタ:

IRカットフィルターの感度:

自動モードを選択すると露出設定のプロファイルが無効になります。

① ビデオの設定

ビデオタイトル : ライブビデオのタイトルバーに表示される名前を入力できます。画面上にビデオタイトルと時間をスタンプして表示する場合は、ビデオとスナップショットにタイムスタンプとビデオタイトルを表示するにチェックを入れます。

イメージ上のタイムスタンプと動画タイトルの位置: タイムスタンプとビデオタイトルを表示する位置を選択します。

タイムスタンプと動画タイトルのフォントサイズ: タイムスタンプとビデオタイトルのフォントサイズを選択します。

ビデオフォント(.ttf): True Typeフォントファイルをアップロードすると、そのフォントでビデオタイトルを表示できます。

カラー : ビデオストリームの色(白黒/カラー)を選択します。

電力線周波数 : 50Hz/60Hzを選択します。カメラの設置場所と一致する電源周波数を設定して、蛍光灯による画面のちらつきを削減できます。

ビデオの位置 : ビデオの向きを選択できます。

反転 : ライブビデオの表示を垂直方向に反転します。

ミラー : ライブビデオの表示を水平方向に反転します。ネットワークカメラが上下逆に取付けられている場合は、両方のオプションを選択してイメージの向きを修正します。反転とミラーの設定後はプリセットした位置情報はクリアされます。

回転 : ライブビデオの表示を回転します。

H.265/H.264プロトコルとメディアオプションの設定



② 昼間/夜間設定

ナイトモード時に自動的に白黒に切換える場合にチェックを入れます。

IRカットフィルタ : 赤外線カットフィルタの自動切換えにより、暗い環境では自動的にIRカットフィルタを取外し、センサーに赤外線領域の光を通すことができます。

- ・自動モード : 周囲の光のレベルを判断してフィルタを自動的に切換えます。
- ・昼間モード : 赤外線カットフィルタを常時オンにして、赤外線領域の光がセンサーに入射するのをブロックし、色がゆがまないようにします。
- ・夜間モード : 赤外線カットフィルタを常時取外して、センサーが赤外線領域の光まで受光できるようにし、低照度時の感度を改善します。
- ・スケジュールモード : 指定されたスケジュールに基づいて[昼間モード]と[夜間モード]の切換えができます。昼間モードの送信元(開始時刻)と対象(終了時刻)を入力してください。

IRカットフィルターの感度 : 赤外線カットフィルタが切換わるときの照明条件を低、標準、高の3段階に調整します。

設定が完了したら[保存]をクリックして設定を有効にします。

照明装置

一般設定 照明装置 画像設定 露出 フォーカス プライバシーマスク

Auto 100%



照明装置

☒ 夜間モードで内蔵IR照明をオンにします。

抗露出過多

☐ 抗露出過多

元に戻す 保存

① 照明装置

夜間モードで内蔵IR照明をオンにする場合にチェックを入れます。

② 抗露出過多

夜間モードで露出オーバーした時に、自動的に内蔵IR照明の明るさを調整する場合にチェックを入れます。
設定が完了したら[保存]をクリックして設定を有効にします。

画像設定

標準照明モード

一般設定

照明装置

画像設定

露出

フォーカス

プライバシーマスク

Auto

100%

標準照明モード

プロファイルモード

白バランス

自動

▼

画像調整

明るさ:

50%

コントラスト:

50%

サチュレーション:

50%

シャープネス:

50%

ガンマ曲線:

最適化

▼

曇り除去

☐

曇り除去

3D ノイズリダクション

強度:

低

高

元に戻す

保存

1

2

3

4

① 白バランス

最適な色温度に調整します。

・自動 : 光源の変化に対応し、カメラの色温度を自動的に調整します。

・現在の値を固定 : 特定の白バランス状態に固定します。

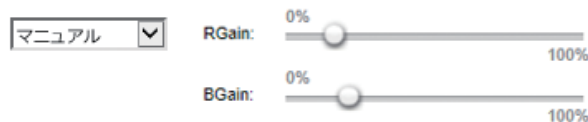
特定の白バランス状態に固定させるときは、下記の手順で設定します。

1. 白バランスを自動に設定します。

2. 白色の紙を用意し、レンズの前に配置して、ネットワークカメラが自動的に色温度を調整します。

3. カメラが白バランスを自動的に測定して調整した後、[現在の値を固定]を選択して保存します。

・マニュアル : RGainとBGainのスライダーで、色温度を手動で調整します。

**② 画像調整**

明るさ : 画像の明るさを調整します。

コントラスト : 画像のコントラストを調整します。

サチュレーション : 色の濃さを調整します。

シャープネス : 画像のシャープネスを調整します。

ガンマ曲線 : 画像のガンマ曲線を調整します。通常は[最適化]を選択します。

[マニュアル]を選択して、スライダーで、画像の暗い箇所と明るい箇所の両方に対し、ガンマ補正を行なって高コントラストか詳細を際立たせるために高輝度を設定することができます。

●WDR機能を有効にしている場合は、この機能は無効です。

**③ 曇り除去**

スモッグ、霧、煙などの悪天候時に撮影された画像の鮮明度を改善する場合にチェックを入れます。

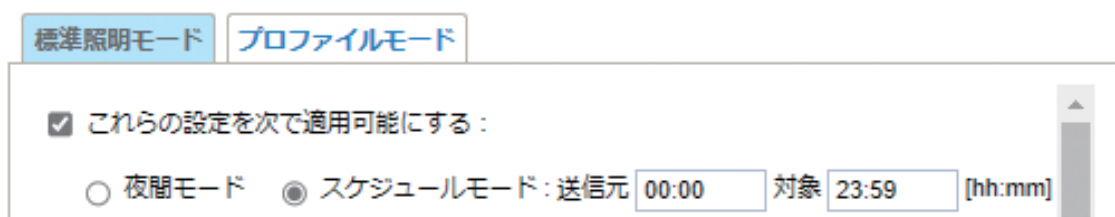
④ 3Dノイズリダクション

強度 : 画像のノイズやちらつきを強度の調整をして減らします。動く被写体を撮影する時に残像が発生する場合は、強度を下げて使用してください。

設定が完了したら[保存]をクリックして設定を有効にします。

プロフィールモード

夜間モードまたはスケジュールモードで設定した内容を有効とする場合にチェックを入れます。



露出

標準照明モード

一般設定
照明装置
画像設定
露出
フォーカス
プライバシーマスク

Auto
100%

包含ウィンドウの追加
除外ウィンドウの追加

標準照明モード
プロファイルモード

自動モードを選択すると露出設定のプロファイルが無効になります。

Exposure strategy
計測ウィンドウ:
☐ 全画面
☒ カスタム
☐ BLC
☐ HLC

露光コントロール
露光レベル:
0
フリッカー補正
☐
露出時間:
1/32000 - 1/30
ゲイン調節:
0 - 100 %

AE 速度調整
☒ AE 速度調整を有効にする
速度レベル:
遅い
速い
感度:
低
高

WDR
☒ 有効 WDR Pro
☒ WDR強化を有効化
強度:
低
高

元に戻す
保存

① Exposure strategy

測定ウインドウ：被写体の背景に非常に明るい光がある場合などに効果があります。例えば、建物の廊下から差し込む明るい太陽光を除外することができます。

- ・全画面：画面全体に対して、適切な明るさとなるように露出を調整します。
- ・カスタム：カスタマイズしたウインドウに包括範囲または除外範囲を手動で追加することができます。
合計10個のウインドウを設定できます。
包括範囲と除外範囲が重なった場合は、除外範囲と認識されて残りの包括範囲から露出レベルが計算されます。
- ・BLC(バックライト補正)：画面中央に自動的に範囲を設定して、適切な露出となるように調整します。
- ・HLC(ハイライト補正)：ネットワークカメラが強い光源を検出した場合、それによる影響を補正して全体の画質を改善します。
例えば、HLCはスポットライトやヘッドライトによってできるにじみを減らすことができます。

② 露光コントロール

露光レベル：露光レベルの設定をします。最適な画像を得られるように、カメラの自動的に調整するシャッタースピードと明るさの範囲を設定します。シャッタースピードを速くすると光量が減ってしまうため、明るさを増やす必要がありますが、動きのある被写体を適切に撮影することができます。

フリッカー補正：シャッタースピードの範囲がAC電源周波数に合う範囲に制限します。電源周波数が60Hzの場合、シャッタースピードは1/120より長くなります。映像の周波数とAC電源周波数にズレがある場合、色ズレや画面のちらつきが発生することがあります。

- WDR Proが有効の場合は設定できません。

露出時間：シャッタースピードの範囲を設定します。

ゲイン調節：明るさの範囲を設定します。

③ AE速度調整

AE速度調整を有効にする：照明条件が素早く変化する場所を監視する必要がある場合に設定します。例えば、夜間に高速道路の車線や駐車場の入口をカメラで監視する場合、ライトを点灯したまま通り過ぎる車による、明るさの急激な変化に対応することができます。

④ WDR

有効 WDR Pro：チェックを入れると、ワイドダイナミックレンジにより、逆光の条件でも明暗部の明るさを自動的に調整して、自然な状態で撮影することができます。

WDR強化を有効化：チェックを入れると、明るい背景と被写体とのコントラストが高い場合に、暗い部分の明るさを調整して、画像をより鮮明に撮影することができます。

設定が完了したら[保存]をクリックして設定を有効にします。

プロフィールモード

夜間モードまたはスケジュールモードで設定した内容を有効とする場合にチェックを入れます。

- 一般設定→昼間/夜間設定→IRカットフィルタは自動モードに設定されている場合、選択できません。

標準照明モード

プロフィールモード

☒ これらの設定を次で適用可能にする：

☐ 夜間モード
 ☒ スケジュールモード：送信元 対象 [hh:mm]

フォーカス



- ① **ズーム** : [<<][<][>][>>]をクリックしてレンズの倍率を調整します。(光学ズーム)
フォーカス : [<<][<][>][>>]をクリックして焦点を手動で調整します。

② **自動フォーカス**

フルレンジスキャン : カメラの焦点距離全体をスキャンします。フルレンジスキャンをしない場合は、最適なフォーカスが得られる場所をスキャンします。

絞り開放 : カメラのアイリスが完全に開いた状態でスキャンを実施します。(設定は変更できません)
 [オートフォーカスを実行]をクリックして、スキャンが完了するのを待ちます。設定された画像に満足できない場合は、フォーカスの [<<][<][>][>>]をクリックして焦点を微調整してください。

③ **フォーカスウィンドウ**

全画面 : 全画面に対してフォーカス調整を行います。

カスタム : フォーカスする画面位置を指定してフォーカス調整を行います。この機能は、色や質感を持つ立体物を表示する場合にのみ使用することをお勧めします。ただし、3m以上離れた廊下など、遠くの背景にフォーカス画面を指定した場合は、この機能は有効になりません。

プライバシーマスク

プライバシーを守るために映像にマスクングする範囲を設定することができます。



- 1.[新規]をクリックして新しいウインドウを追加します。(最大5つのマスクウインドウを設定できます)
- 2.画面上にマスクングしたい場所を囲むように、4か所をクリックして範囲を指定します。
- 3.ウインドウ名を入力して[保存]をクリックして設定を保存します。
- 4.[プライバシーマスクを有効にする]にチェックを入れて、機能を有効にします。

メディア > ビデオ

ストリーム1用ビデオ設定：ストリーム1の解像度、最大フレームレートなどの設定をします。
ストリーム2用ビデオ設定：ストリーム2の解像度、最大フレームレートなどの設定をします。
ストリーム3用ビデオ設定：ストリーム3の解像度、最大フレームレートなどの設定をします。
表示ウィンドウ：表示領域を確認しながら設定することができます。

ストリーム

ストリーム

▼ ストリーム1用ビデオ設定

[表示ウィンドウ](#)☐ H.265☒ H.264

解像度: 1920x1080 ▼

最大フレームレート: 30 fps ▼

イントラフレーム期間: 1 S ▼

スマートストリーム III

☒ 動的フレーム内周期 ([ヘルプ](#))☐ スマートFPS☒ スマートコーデック:

モード: 自動追跡 ▼

画質プライオリティー: ([ヘルプ](#)) 

2)

ビットレートコントロール

☒ 制約付きビットレート:

目標品質: 詳細 ▼

最大ビットレートが: 4 Mbps ▼

ポリシー: フレームレート優先度 ▼

スマート画質: オン ▼

☐ 品質調整:☐ JPEG

▶ ストリーム2用ビデオ設定

[表示ウィンドウ](#)

▶ ストリーム3用ビデオ設定

保存

H.265/H.264

H.265に設定するとブラウザで映像を視聴することはできません。映像を視聴するには「RTSPプレーヤーからのアクセス」(p.7)をご覧ください。

解像度 : 異なる解像度を設定することができます。

最大フレームレート : 1秒あたりの最大フレームレートを設定します。フレームレートを高く設定すると、映像の動きが滑らかになり動いている対象物を認識することが容易になります。フレームレートは解像度を高くすると減少します。

イントラフレーム期間 : フレームを挿入する間隔を設定します。間隔が短いほど画質は向上しますが、ネットワーク帯域幅の消費量は増加します。

スマートストリームⅢ

動的フレーム内周期 : H.265などの高品質モーションコーデックは、ビデオフレーム間の冗長性を利用し画像とビットレートのバランスを調整してビデオストリームを配信します。

スマートFPS : 静止場面では、シーン内に動きがない場合、アルゴリズムは古いフレームをキューに入れます。動きがあると、エンコーディングが再度始まり、リアルタイムストリーミングを配信します。
静止画面の古いフレームをキューに入れることで、カメラの負荷とPフレームのサイズの両方を削減することができます。またフレームレートを低下させないためにも効果的です。
シーンに動きがあったときに、スマートFPSから通常のエンコーディングに戻すためのフレーム間差分しきい値は1%です。

スマートコーデック : 全体または画面上の重要ではない領域の画質を効果的に低下させ、消費される帯域幅を削減します。
重要な領域(ROI)と重要ではない領域(非ROI)の画質を手動で設定します。

モード :

自動追跡 : 画面全体が非ROI領域に設定されます。画面の一部に動きがあると、動きがある領域が自動的にROI領域に設定され、高画質で伝送されます。その他の領域は低画質のまま伝送されます。

マニュアル : 画面上に3つのROIウィンドウを設定できます。ROIウィンドウに含まれていない領域は、非ROI領域と見なされます。ROI領域は、高画質で送信されます。

ハイブリッド : ノーマルでは、非ROI領域は内部の被写体に動きがあっても常に低画質で送信されますが、ハイブリッドでは、非ROI領域は内部の被写体に動きがあった場合、対象の被写体とその周囲の画質が自動的に改善されます。

画質プライオリティ : ROIと非ROI領域の画質の差をスライドバーで調整することができます。

スライドゲージが右側にあるほど、ROI領域の画質は高くなります。反対にスライドゲージを左に移動すると、非ROI領域の画質が高くなります。

ビットレートコントロール

制約付きビットレート : 複雑なシーンでは一般にファイルサイズが大きくなるため、データ転送に必要な帯域幅が大きくなります。そこで、利用する帯域幅のレベルを設定することができます。

目標品質 : 目標となる画質を選択することができます。

最大ビットレート : ビットレートを設定することができます。

ポリシー : フレームレート優先度を選択すると、ネットワークカメラは1秒あたりのフレームレート数の維持を優先にします。一方、画像優先度を選択すると、ネットワークカメラは画質の維持を優先します。

品質調整 : **スマート品質** : オンを選択すると、フレームサイズとビットレートの消費を抑えます。
: すべてのフレームが同じ画質で送信されます。

最大ビットレート : 画質優先の場合でも、帯域幅やストレージを考慮してビデオストリームのサイズを制御するビットレートの制限を設定することができます。

ネットワーク帯域幅の制限があるとき、設定値を超えないようにできますが、低照度のシーンでは、カメラの明るさアップでノイズが発生して、ビデオストリームのデータサイズが大幅に増加する可能性があるため、注意が必要です。

JPEG

連続したJPEG画像をクライアントに送信し、複数の静止画を連続して表示することで動きのある映像として表示することができます。転送されるすべてのJPEG画像は同じ画質です。また、JPEG画像の組み合わせであるため、オーディオデータはクライアントに送信することができません。JPEGモードでは、ビデオ設定のため3つのパラメーターが用意されています。

解像度 : 異なるビデオ解像度を設定できます。

最大フレームレート : 1秒あたりの最大リフレッシュフレームレートを制限します。

ビットレートコントロール : モーションJPEGの送信時に消費する帯域を制御するために、平均または上限のしきい値を設定します。
(上記のビットレートコントロール参照)

表示ウィンドウ



表示領域を設定します。

1. 表示領域を設定するストリームを選択します。
2. モニタ領域のリストから表示領域を選択します。
カスタマイズした表示領域を設定する場合は、表示画面の枠をマウスでフレームサイズを変更し、目的の位置にドラッグします。
3. 設定が完了したら[保存]をクリックして設定を有効にし、[終了]をクリックして画面を閉じます。
 - 設定した出力フレームサイズは、各ビデオストリームのフレームサイズに即時適用されます。

メディア > オーディオ

オーディオ設定

オーディオ設定

☐ ミュート

内部マイク端子の増幅率:  70%

オーディオタイプ

☒ G.711: pcmu ▼

☐ G.726 ビットレート: 32 Kbps ▼

保存

ミュート

ネットワークカメラからすべてのクライアントへの音声送信を無効にします。ミュートされている場合、[クライアント設定]で音声送信が有効になっていても、音声データは送信されませんから注意してください。

内部マイク端子の増幅率

周囲の状況に応じて、外部入力音声の音量を調整します。

オーディオタイプ

G.711 :「pcmu」(u-Law)または「pcma」(A-Law)を選択します。

G.726ビットレート : 音声のビットレートを設定します。

設定が完了したら[保存]をクリックして設定を有効にします。

ネットワーク > 一般設定

ネットワークタイプ

LAN

ネットワークカメラはローカルエリアネットワーク上に展開され、ローカルコンピュータからアクセスすることができます。

ネットワークタイプ

☒ LAN

☐ 自動的にIPアドレスを取得

☒ 固定IPアドレスを使用

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトルーター:

プライマリDNS:

セカンダリDNS:

プライマリWINSサーバー:

セカンダリWINSサーバー:

☒ UPnP プレゼンテーションを有効にする

☐ UPnPポート転送を有効にする

☐ PPPoE

☐ 有効 IPv6

保存

自動的にIPアドレスを取得

カメラはLANに接続されるたびにDHCPサーバーによって自動でIPアドレスを取得します。

固定IPアドレスを使用

ネットワークカメラに固定IPアドレスを手動で割り当てます。ネットワーク管理者から提供された固定IP、サブネットマスク、デフォルトルーター、プライマリDNSを入力してください。

- サブネットマスク : アドレスが同じサブネット内にあるかどうかを判別するために使用されます。
- デフォルトルーター : 異なるサブネット内のアドレスにフレームを転送するために使用するゲートウェイです。ルーター設定が無効の場合、異なるサブネット間のアドレスへの転送も無効になります。
- プライマリDNS : ホスト名をIPアドレスに変換します。
- セカンダリDNS : プライマリDNSをバックアップします。
- プライマリWINSサーバー : コンピューター名とIPアドレスのデータベースを管理します。
- セカンダリWINSサーバー : コンピューター名とIPアドレスのデータベースを管理します。

UPnPプレゼンテーションを有効にする

この項目を選択すると、ネットワークのUPnPプレゼンテーションを有効にします。

UPnPポート転送を有効にする

この項目を選択すると、インターネットからアクセスしたネットワークカメラが自動的にルーターのポートを開いて、LANからビデオストリームを送信することができます。この機能を利用するには、ルーターがUPnPをサポートしていて、有効になっている必要があります。

PPPoE : この機能は使用しません。

有効IPv6 : この機能は使用しません。

ネットワーク > ストリーミングプロトコル

HTTP

HTTP	RTSP
認証:	digest ▼
HTTPポート:	80
セカンダリHTTPポート:	8080
ストリーム1のアクセス名:	video1s1.mjpg
ストリーム2のアクセス名:	video1s2.mjpg
ストリーム3のアクセス名:	video1s3.mjpg

保存

認証

ネットワークカメラにはネットワークのセキュリティ要件に応じたHTTPトランザクションのセキュリティ設定が2種類用意されています。

basic : パスワードはテキスト形式で送信され、傍受される可能性があります。

digest : ユーザー資格情報はMD5アルゴリズムを使用して暗号化されるため、不正アクセスに対する保護が強化されます。

HTTPポート/セカンダリHTTPポート

初期設定では、HTTPポートは80、セカンダリHTTPポートは8080に設定されています。これらのポートは1025～65535までポート番号に割り当てることもできます。

HTTPポートとセカンダリHTTPポートの両方を使用してLAN上のネットワークカメラにアクセスすることができます。例えば、HTTPポートが80に設定され、セカンダリHTTPポートが8080に設定されている場合、ネットワークカメラのIPアドレスは、[http://192.168.4.160 or http://192.168.4.160:8080]です。

ストリーム1～3のアクセス名

複数のストリームを同時にサポートすることができます。アクセス名は異なるビデオストリームを識別するために使用します。

Webブラウザーからアクセス

- 1.Webブラウザーを起動します。
 - 2.URLにHTTPのアドレスを入力し[Enter]を押します。
 - 3.JPEG画像が表示されます。
 - [メディア]>[ビデオ]>[ストリーム]の設定で、JPEGに設定する必要があります。
- アドレスの形式 http://[IPアドレス]:[httpポート]/[ストリームのアクセス名]

RTSP

HTTP

RTSP

認証:

digest ▼

RTSPポート:

554

ビデオのRTPポート:

5556

ビデオのRTCPポート:

5557

メタデータ用 RTP ポート:

6556

メタデータ用 RTCP ポート:

6557

ストリーム1のアクセス名:

live1s1.sdp

ストリーム2のアクセス名:

live1s2.sdp

ストリーム3のアクセス名:

live1s3.sdp

▼ ストリーム1のマルチキャスト設定

☐ 常にマルチキャスト

マルチキャストグループアドレス:

239.128.1.99

マルチキャストビデオポート:

5560

マルチキャストRTCPビデオポート:

5561

マルチキャストメタデータポート:

6560

マルチキャスト RTCP メタデータポ
ート:

6561

マルチキャストTTL [1~255]:

15

▶ ストリーム2のマルチキャスト設定

▶ ストリーム3のマルチキャスト設定

保存

認証

ネットワークカメラにはネットワークのセキュリティ要件に応じたRTSPプロトコル経由のストリーミング用にセキュリティ設定が3種類用意されています。

disable : セキュリティの設定はありません。

basic : パスワードはテキスト形式で送信され、傍受される可能性があります。

digest : ユーザー資格情報はMD5アルゴリズムを使用して暗号化されるため、不正アクセスに対する保護が強化されます。

RTSPポート/ビデオのRTPポート/ビデオのRTCPポート

- RTSP(リアルタイムストリーミングプロトコル)はストリーミングメディアの配信を制御します。
- RTP(リアルタイム転送プロトコル)はビデオおよびオーディオデータをクライアントに配信するために使用します。
- RTCP(リアルタイムトランスポート制御プロトコル)を使用すると、ネットワークのトラフィック量をモニターしながらデータを送信することができます。

これらのポートは1025~65535までポート番号に割当ててもできます。RTPポートは偶数の必要があり、RTCPポートはRTPポート番号に1を加えた数となるため、常に奇数です。RTPポートが変更されると、それに応じてRTCPポートも変更されます。

ストリーム1~3のアクセス名

複数のストリームを同時にサポートすることができます。アクセス名は異なるビデオストリームを識別するために使用します。アドレスの形式 `rtsp://[IPアドレス]:[rtspポート]/[ストリームのアクセス名]`

ストリーム1~3のマルチキャスト設定

この項目をクリックすると詳細設定が表示されます。

常にマルチキャスト

: ビデオストリームのマルチキャストを有効にします。

ユニキャストビデオ伝送では、ポイントツーポイント伝送によってストリームを配信します。一方、マルチキャスト伝送は、マルチキャストグループアドレスにストリームを送信し、そこからコピーを要求することで、複数のクライアントが同時にストリームを取得できるようにします。よってマルチキャストを有効にすると、インターネットの帯域幅を効果的に節約することができます。

これらのポートは1025~65535までポート番号に割当ててもできます。マルチキャストRTPポートは偶数の必要があります。マルチキャストRTCPポートはRTPポート番号に1を加えた数となるため、常に奇数です。マルチキャストRTPポートが変更されると、それに応じてマルチキャストRTCPポートも変更されます。

マルチキャストTTL(1~255) : マルチキャストTTLは、パケットの有効期限で、ルーターを通過できる回数です。

ネットワーク > DDNS

手動セットアップ

手動セットアップ

エクスプレスリンク

☐ DDNSを有効にする

プロバイダ:

Dyndns.org(Dynamic) ▼

ホスト名:

ユーザー名:

パスワード:

保存

DDNSを有効にする

チェックを入れると、DDNS設定を有効にします。

プロバイダ：DDNSプロバイダを選択します。

DDNS機能を利用する前に、VIVOTEKは、無料のドメインネームサービス[Safe100.net]を提供していますから、ドメインアカウントを申請してください。また、Dyndns.org(Dynamic)、Dyndns.org(Custom)など他のDDNSプロバイダも提供しています。事前に使用するDDNSプロバイダーにて、アカウントの申請をしてください。

Safe100.net 登録

プロバイダ：[Safe100.net]を選択し、サービス契約の条件を確認してから[合意します]をクリックします。

●英文の和訳は「ダイナミックドメインネームシステム ライセンス契約」(p.77)をご覧ください。

登録

ホスト名:

電子メール:

キー:

確認キー:

このカメラの登録やアカウントの変更をする場合は、[登録]ボタンをクリックしてください。

登録

DDNS メッセージ

アカウントが正常に登録されたら、DDNSフォーム、または [コピー](#) 登録フォームに手動で記入してください。[保存]をクリックして変更を保存します。

ホスト名：[ホスト名(xxxx.safe100.net)]を入力します。

電子メール：メールアドレスを入力します。

キー：キーを入力します。

確認キー：再度キーを入力します。

[登録]をクリックして以下のメッセージが表示されれば、申請は終了です。

DDNS メッセージ

[Register] Successfully. Your account information has been mailed to registered e-mail address.

設定が完了したら[保存]をクリックして設定を有効にします。

エクスプレスリンク

エクスプレスリンクはVIVOTEKサーバーが提供する無料のサービスで、ユーザーはネットワークカメラのドメイン名を登録することができます。1つのURLは1つのMACアドレスにしか関連付けすることができません。
このサービスは、ホスト名が有効かどうかを調べ、ルーターのポートを自動的に開くことができます。
DDNSを使用する場合は、UPnPポート転送を手動で設定する必要がありますが、エクスプレスリンクを使用する方が便利で設定も簡単です。

Express Link設定

1. ルーターがUPnPポート転送対応であることと、機能が有効になっていることを確認してください。
2. Express Linkの有効化を選択します。
3. ネットワークカメラのMACアドレスを入力し[保存]をクリックします。ホスト名が別のデバイスで使用されている場合はエラーメッセージが表示されます。ホスト名が有効な場合は以下のメッセージが表示されます。
4. URLをクリックすると、カメラにアクセスできます。

[手動セットアップ](#) [エクスプレスリンク](#)

☒ Express Linkの有効化

http:// .2bthere.net [ヘルプ](#)

この段階でカメラにアクセスできます <http://0002D19B9797.2bthere.net>

ネットワーク > QoS

QoSとはネットワーク上のさまざまなサービスに対して、一定の品質を保証するリソース予約制御する機能です。

QoS対応ネットワークの主な利点

- トラフィックに優先順位を付け、データフローに対して一定レベルのパフォーマンスを保証
- 各アプリケーションが使用できる帯域幅の量を制御し、ネットワークの信頼性と安定性を向上

ネットワーク環境でQoSを利用するには、以下の要件を満たす必要があります。

- ネットワーク内のすべてのネットワークスイッチとルーターがQoS対応であること。
- ネットワークで使用するネットワークビデオデバイスはQoS対応であること。

CoS(the VLAN 802.1p model)

IEEE802.1pはOSIレイヤ2(データリンクレイヤ)でQoSモデルを定義します。

VLAN MACヘッダには3ビットの値が追加され、フレームプライオリティレベルは0(最低)～7(最高)に設定されます。優先順位はネットワークスイッチで設定され、パケットを転送するために異なるキューイング規制を使用します。

スイッチのVLAN ID(0～4095)を入力し、各アプリケーションの優先順位を指定します。

CoS

☒ CoSを有効にする

VLAN ID:	1
ライブ ビデオ:	0
ライブ オーディオ:	0
イベント/アラーム:	0
管理:	0

QoS/DSCP(the DiffServ model)

DSCP-ECNは、レイヤ3(ネットワークレイヤ)でQoSを定義します。

パケットマーキングとルーターのキューイング規則に基づいてQoSを行います。

マーキングはDSCPと呼ばれる64個の異なるクラスIDを提供する6ビットのフィールドをIPヘッダに追加することによって行われます。

特定のパケットの転送方法はPHBと呼ばれ、帯域幅、キューイング理論、パケットの破棄の決定に関して、特定のサービスレベルを記述します。

各ネットワークノードのルーターは、DSCP値に従ってパケットを分類し、予約帯域幅の量などに特定の転送処理を行います。

各アプリケーションのDSCP値(0～63)を指定します。

QoS/DSCP

☒ QoS/DSCPを有効にする

ライブ ビデオ:	0
ライブ オーディオ:	0
イベント/アラーム:	0
管理:	0

保存

ネットワークデバイスベンダーによって設定や実装の方法がことなる場合があります。
ネットワークデバイスからの情報に従ってDSCP値を入力してください。

ネットワーク > SNMP

SNMPは、ネットワークデバイス間の管理情報の交換を容易にします。これにより、ネットワーク管理者はネットワークデバイスをリモートで管理し問題を見つけて解決することができます。

●SNMPは、次の3つの主要コンポーネントで構成されています。

1. SNMPマネージャー：管理対象デバイスを監視および制御するアプリケーションを実行するサーバーです。
ネットワーク管理ステーション(NMS)
2. SNMPエージェント：管理対象デバイスのステータスをNMSに転送するデバイス上のネットワーク管理ソフトウェアモジュール。
3. 管理対象デバイス：ルーター、スイッチ、ブリッジ、ハブ、コンピューターホスト、プリンター、IP電話、ネットワークカメラ、Webサーバー、データベースなど。

SNMP設定をする前に、必ずNMSを有効にしてください。

SNMP設定

SNMP設定

☒ 有効 SNMPv1, SNMPv2c

読み書き可能コミュニティ: private

読み取り専用コミュニティ: public

有効SNMPv1,SNMPv2c

NMSの設定に従って[読み書き可能コミュニティ]と[読み書き専用コミュニティ]を入力します。

☒ 有効 SNMPv3

読み書き可能セキュリティ: private

名:

認証タイプ: MD5 ▼

認証パスワード:

暗号化パスワード:

読み取り専用セキュリティ: public

名:

認証タイプ: MD5 ▼

認証パスワード:

暗号化パスワード:

保存

有効SNMPv3

より高いセキュリティレベルである暗号化セキュリティが含まれた認証パスワードと暗号化パスワードを設定することができます。

読み書き可能セキュリティ名: NMSの設定に従って[読み書き]または[読み取り]のどちらかを選択し、セキュリティ名を入力します。

認証タイプ: 認証方法を選択します。

認証パスワード: 認証用のパスワードを入力します。(8文字以上)

暗号化パスワード: 暗号化用のパスワードを入力します。(8文字以上)

ネットワーク > FTP

このカメラでは、セキュリティ上の理由から工場出荷時はFTPポートが無効になっています。
[FTPサーバーを有効にする]にチェックを入れることで、FTP機能を有効にすることができます。
FTPサーバー機能を使用していないときは無効にすることもできます。

FTP

FTP
☒ FTPサーバーを有効にする
FTPポート:

保存

FTPポート

FTPサーバーには、録画したビデオクリップを保存することができます。
1025～65535までの別のポート番号を割当てすることもできます。

ネットワーク > Bonjour

この機能は使用しません。

ネットワーク > ユーザーアカウント

アカウント管理

アカウント管理

権限の管理

--新しいユーザー-- ▼

ユーザー名:

ユーザーパスワード: Invalid password

* At least 8 characters with no space, one alphabet character and one numeric character

ユーザーパスワードの確認:

特権:

管理者 ▼

削除 追加 更新

特権

- 管理者 : ライブ視聴用のメインページ、および設定ページへアクセスすることができます。
- オペレータ: ライブ視聴用のメインページへアクセスすることができます。
URLコマンドを使用して、パラメータ値を取得したり、設定したりすることができます。
- ビューワ : ライブ視聴用のメインページへアクセスすることができます。

新しいユーザーを追加する場合

[新しいユーザー]を選択して、ユーザー名、ユーザーパスワードとユーザーパスワードの確認に新しいパスワードを入力後、[特権]を選択し、[追加]をクリックして設定を有効にします。

- パスワードには、一部の記号(!, \$, %, -, ., @, ^, _, ~)を使用することもできます。
- 最大20個のユーザーアカウントを作成することができます。

パスワード変更する場合

[root]を選択して、ユーザーパスワードとユーザーパスワードの確認に新しいパスワードを入力し、[更新]をクリックして設定を有効にします。

追加したユーザーの特権の変更をする場合

追加したユーザーを選択後、特権を選択し、[更新]をクリックして設定を有効にします。

追加したユーザーを削除する場合

追加したユーザーを選択後、[削除]をクリックして設定を有効にします。

権限の管理

アカウント管理

権限の管理

☐ 匿名者の閲覧を許可する

オペレータ: ☒ PTZコントロール

ビューワ: ☒ PTZコントロール

保存

匿名者の閲覧を許可する

この項目にチェックを入れると、すべてのクライアントがユーザー ID、パスワードの入力なしで、ライブストリームにアクセスすることができます。

PTZコントロール: オペレータ、ビューワの権限でPTZコントロール操作可能かの設定をします。

セキュリティ > HTTPS

この機能は使用しません。

セキュリティ > アクセスリスト

一般設定

一般設定

同時ストリーミングの最大数: 10 ▼

接続管理

同時ストリーミングの最大数

同時ストリーミング接続の最大数を変更します。

[接続管理]をクリックすると、現在の接続一覧を示すステータスウィンドウが表示されます。

一覧には、現在のライブストリーミングを表示しているコンソールだけが表示されます。

	IPアドレス	継続時間	ユーザーID
☐	192.168.10.102	00:21:09	root
リフレッシュ 受信拒否リストに追加する 切断する 終了			

IPアドレス : 現在のネットワークカメラへの接続を確認できます。

継続時間 : クライアントがカメラのWebページに接続している時間を確認できます。

ユーザー ID : 管理者がWebページのパスワードを設定している場合、クライアントはライブビデオにアクセスするためにユーザー名とパスワードを入力する必要があります。このユーザー名が表示されます。

リフレッシュ : すべての接続を更新します。

受信拒否リストに追加する : チェックを入れてクリックすると、フィルタのアクセスリストに追加されます。

切断する : チェックを入れてクリックすると、現在の接続を切断します。

ご注意 一般設定の機能は、Microsoft Edge(IEモード表示)のみ対応します。

フィルタ

フィルタ

☐ アクセスリストのフィルタリングを有効にする

フィルタータイプ: ☐ 許可 ☒ 拒否

IPv4アクセスリスト

追加

削除

アクセスリストのフィルタリングを有効にする

この項目にチェックを入れると、アクセスリストのフィルタリング機能を有効にします。

フィルタータイプ

[許可]を選択すると、IPv4アクセスリストに追加されたIPアドレスを持つクライアントだけがネットワークカメラにアクセスすることができます。

[拒否]を選択すると、IPv4アクセスリストに追加されたIPアドレスを持つクライアントだけがネットワークカメラにアクセスすることができなくなります。

追加

クリックすると、次ページの画面が表示されます。

フィルターアドレス

フィルターアドレス

ルール: 単一 ▼

IPアドレス: 192.168.10.1

OK キャンセル

ルール

単一 : アクセスリストにIPアドレスを追加することができます。

ネットワーク: アクセスリストにネットワークアドレスと対応するサブネットマスクを割り当てることができます。

フィルターアドレス

ルール: ネットワーク ▼

ネットワークアドレス / ネットワークマスク: 192.168.10.0 / 24

OK キャンセル

範囲

: アクセスリストにIPアドレスの範囲を割り当てることができます。

フィルターアドレス

ルール: 範囲 ▼

IPアドレス - IPアドレス: 192.168.10.0 - 192.168.10.255

OK キャンセル

管理者IPアドレス

管理者IPアドレス

☐ このIPアドレスにデバイスへのアクセスを常に許可する:

保存

このIPアドレスにデバイスへのアクセスを常に許可する

この項目にチェックを入れ、管理者のIPアドレスを追加すると、管理者が常にデバイスに接続できるかどうかを確認することができます。

セキュリティ > IEEE 802.1x

ネットワーク環境でポートベースのネットワークアクセス制御であるIEEE 802.1xを使用している場合、この機能を有効にします。

ネットワークデバイス、中継スイッチ、アクセスポイント、ハブ、RADIUSサーバーも802.1xに対応し、設定が有効になっていることを確認してください。

802.1x規格はローカルエリアネットワークのセキュリティを強化するために設計されています。ネットワークポート(有線または無線)に接続されたネットワークデバイス(クライアント)に認証を提供します。クライアントとサーバー間のすべての証明書が確認されると、ポイントツーポイント接続が有効となり、認証に失敗した場合そのポートへのアクセスは禁止されます。また、802.1xでは既存のプロトコル(EAP)を使用して通信を行います。



サブリカント : 認証をリクエストするクライアントエンドユーザー (カメラ)

オーセンティケータ : 無許可のエンドユーザーが認証サーバーと通信することを制限する仲介者(アクセスポイントやスイッチ)

認証サーバー : クライアント証明書を確認し、エンドユーザーのアクセス要求を受け入れるかどうかを決定する場所 (通常はRADIUSサーバー)

ネットワークカメラは、認証を実行するEAP方式として、EAP-PEAPとEAP-TLSの2種類をサポートしています。

1. 802.1xで保護されたネットワークカメラを接続する前に、RADIUSサーバーが確認することができる認証局(ネットワーク管理者)からのデジタル証明書を適用してください。
2. ネットワークカメラを保護ネットワーク外のパソコンに接続します。
3. 下図、ネットワークカメラの設定画面を開き、[EAP方式]で[EAP-PEAP]または[EAP-TLS]を選択します。
4. 身分、パスワードにそれぞれCAが発行したIDとパスワードを入力し、CA認証で関連する証明書をアップロードします。

IEEE 802.1x

☒ IEEE 802.1xを使用

EAP方式: EAP-PEAP ▼

身分:

パスワード:

CA認証: 参照... アップロード

ステータス: ファイルなし 削除

保存

IEEE 802.1x

☒ IEEE 802.1xを使用

EAP方式: EAP-TLS ▼

身分:

個人キーパスワード:

CA認証: 参照... アップロード

ステータス: ファイルなし 削除

クライアント認証: 参照... アップロード

ステータス: ファイルなし 削除

クライアント個人キー: 参照... アップロード

ステータス: ファイルなし 削除

保存

5. すべての設定が完了したら、ネットワークカメラを802.1x対応スイッチに接続して保護ネットワークに移動します。

●その後、デバイスは自動的に認証を開始します。

セキュリティ > その他

組込み済みのトレンドマイクロユーティリティによってCSRF (クロスサイトリクエストフォージェリ)に対する保護を有効にすることができます。CSRFはワンクリック攻撃またはセッションライディングとして知られます。

CSRFはWebサイト(この場合はカメラ)に対する悪意ある攻撃の一種です。不正なコマンドをWebアプリケーションが信頼しているユーザーから送信されるのが特徴で、信頼しているユーザーのリクエストに、自身のクッキーを含むリクエストなどを含ませるメカニズムが用いられます。

悪意のあるWebサイトがそのようなコマンドを送信するために、さまざまな方法が使用される可能性があります。

それらは、特別に細工されたイメージタグ、非表示フォーム、JavaScript XML HTTPリクエストなどです。

悪意ある攻撃は、ユーザーの操作なしに、あるいはユーザーが知らないうちに発生する恐れがあります。

通常は、この機能をOFFにする必要はありませんが、ブラウザからcgiコマンドでリクエストするときは、チェックを外して、[保存]をクリックしてください。

その他

☒ クロスサイトリクエストフォージェリ (CSRF) 保護を有効にします。

この保護を無効にしないことを強く推奨します。この機能を無効にするとカメラのリスクが高まります。

保存

PTZ > PTZ設定

デジタル

デジタル

ストリームの選択: 1 ▼

(TCP-V) 2022/11/06 14:47:51

x1.8

▲ ▼ ◀ ▶

ホーム

▲ ▼

ズーム

パン速度: 0 ▼

回転速度: 0 ▼

ズーム速度: 0 ▼

自動パン/パトロール速度: 1 ▼

移動: -- 1つを選択 -- ▼

ホーム位置設定

現在位置をホームに設定

ホーム位置をデフォルトに復帰

プリセットおよび巡回設定

名前: 中央 追加

巡回用のプリセット位置を選択

プリセット位置	巡回位置	停留時間 (sec)
☒ 右上	☐ 右上	5
☐ 左上	☐ 右下	5
☒ 右下		
☐ 左下		

削除

その他設定

☒ ズームファクター表示

保存

- ① ▲▼◀▶ : ズームされている画面を移動します。
 ホーム : ズームされている画面を全画面表示に戻します。
 ズーム-/+ : ズームの倍率を変更します。
 パン速度 : ズームされている画面で、◀▶ボタンをクリックしたときの移動する幅を設定します。
 回転速度 : ズームされている画面で、▲▼ボタンをクリックしたときの移動する幅を設定します。
 ズーム速度 : ズームの、-、+ボタンをクリックしたときのズームする幅を設定します。
 自動パン/パトロール速度 : 自動パン/パトロール速度の移動速度を設定することができます。
 移動 : プリセットした画面位置をリストから選択して表示することができます。(ホーム画面でもできます)

- ② ホーム位置設定
 現在位置をホームに設定 : 表示したい部分をズームしてクリックすることで、ホーム画面位置に設定されます。
 ホーム位置をデフォルトに復帰 : ホーム画面に設定した位置を全画面表示に戻します。

- ③ プリセットおよび巡回設定
 ネットワークカメラの巡回画面のプリセット位置の設定
 1. 画面内の確認したい部分をズームします。(例: 中央画面)
 2. 名前: 画面タイトル(例: 中央)を入力し、右側に表示される[追加]をクリックします。
 3. ユーザープリセット位置に登録されます。
 4. ユーザープリセット位置から削除したい場合は、削除したい項目にチェックを入れて、[削除]をクリックします。

ネットワークカメラの巡回する画面位置の設定

1. 巡回させる画面位置をユーザープリセット位置から選択し[>>]をクリックして巡回位置に登録します。
 2. 停留時間を設定し[保存]をクリックして設定を有効にします。
 3. ホーム画面の[Patrol]をクリックすると、巡回位置に登録した画面を巡回します。
 4. 巡回位置から削除したい場合は、削除したい項目にチェックを入れて、[削除]をクリックします。

- ④ その他設定
 ズームファクター表示 : ズーム倍率を画面左上に表示することができます。

イベント > イベント設定

[追加]をクリックしてイベントを登録します。

イベント

名前	ステータス	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	時間	トリガー
追加 ヘルプ										

メモ：イベントのセットアップ前に、次をセットアップできます：[イベントサーバー](#) and [イベントメディア](#)

イベント名を入力(英数字で入力)し、[このイベントを有効にする]にチェックを入れます。

優先度を選択します。(優先順位が高いイベントが最初に実行されます)

[次の動体検知またはデジタル入力を検出]でモーション検知後、次のモーション検知を一時停止する時間を秒単位で入力します。

[1.スケジュール]、[2.トリガー]、[3.アクション]を設定します。

イベント名:

☐ このイベントを有効にする

優先度: 標準 ▼

次の動体検知またはデジタル入力を検出: 秒後に次のイベントが検出されます

イベントスケジュール

☒ 日曜
 ☒ 月曜
 ☒ 火曜
 ☒ 水曜
 ☒ 木曜
 ☒ 金曜
 ☒ 土曜

時間

☒ 常に
☐ 送信元 対象 [hh:mm]

1. スケジュール

2. トリガー

3. アクション

イベント名

イベント名を入力します。(英数字で入力)
[このイベントを登録する]にチェックを入れます

優先度

優先度を選択します。
●優先順位が高いイベントが最初に実行されます。

次の動体検知またはデジタル入力を検出

モーション検知後、次のモーション検知を一時停止する時間を秒単位で入力します。

1.スケジュール

イベントが起動するスケジュールを設定します。

曜日：イベントを起動させる曜日にチェックを入れます。

時間：イベントを起動させる時間帯を設定します。

2.トリガー

イベントを起動させるトリガーを設定します。

ビデオ動き検出：カメラのモーション検知結果をトリガーとして使用します。

- モーション検出設定で、モーション検出範囲を新規登録してから設定してください。

● ビデオ動き検出

標準: ☐ Motion2

プロファイル: ☐ Motion1

注記: ま [モーション検出](#) を設定してください

期間：ネットワークカメラは設定された時間置きに定期的にイベントをトリガーすることができます。

● 期間

トリガー間隔 分

システム起動：ネットワークカメラが再起動して、再接続されたときに、イベントトリガーが起動します。

録画通知：ディスク容量を超えて古いデータが上書きされたときに、イベントトリガーが起動します。

音声検知：マイクから検出された音声、アラームレベルを超えるとときにイベントトリガーが起動します。

● 音声検知

☐ 標準: 検出された音声のアラームレベルの を超える場合、イベントをトリガーします

☐ プロファイル: 検出された音声のアラームレベルの を超える場合、イベントをトリガーします

注記: ま [音声検知](#) を設定してください

カメラタンパー検知：カメラにいたずらされていることを検知したときに、イベントトリガーが起動します。

- カメラタンパー検知設定で、タンパー検出、暗すぎる画像の検出、明るすぎる画像の検出、不鮮明な画像の検出を設定してください。

● カメラタンパー検知

☐ タンパー検出 ☐ 暗すぎ ☐ 明るすぎ ☐ 不鮮明

注記: ま [カメラタンパー検知](#) を設定してください

マニュアルトリガー：ホーム画面の[ON/OFF]ボタンをクリックして、イベントトリガーを手動で有効にすることができます。
この機能を使用する前に、1、2、3にそれぞれイベントを設定してください。

● マニュアルトリガー

☐ 1 ☐ 2 ☐ 3

VADP：[Set VADP Trigger]をクリックして、VADPセットアップメニューを開きます。VADPと呼ばれるサードパーティー製ソフトウェアモジュールで使用可能なトリガー条件が一覧で表示されます。

ネットワークカメラのVADPトリガーを設定します。

1. 設定するトリガーをVADP Triggersから選択し[>>]をクリックしてTriggers for Event Settingsに登録します。
2. [保存]をクリックして設定を有効にします。

● VADP

3.VADPを選択すると、登録したトリガーが表示されます。

4.登録したトリガーを選択し[イベントの保存]をクリックして設定を有効にします。

3.アクション

イベントのトリガーが起動したときに、ネットワークカメラが実行するアクションを設定します。

アクション

☐ ネットワークが切断されると、メディアがバックアップされます。

☐ Push notification

サーバー	メディア	追加パラメータ
☐ SD	-----None----- ▼	SDの検査
☐ MASPRO	-----None----- ▼	

[サーバーを追加します。](#) ▼ [メディアを追加します。](#) ▼

イベントの保存 終了

ネットワークカメラが切断されると、メディアがバックアップされます：

ネットワークが切断されているときにSDカードにメディアファイルをバックアップすることができます。この機能はネットワークストレージをセットアップした後のみ表示されます。バックアップするメディアには、イベント設定に応じてスナップショットイメージ、ビデオ、システムログが含まれます。

Push notification：この機能は使用しません。

SDの検査：クリックするとSDカードをテストすることができます。テストが完了すると、結果が表示されます。
SDカードをローカルストレージとして使用する場合は、フォーマットしてから使用してください。

サーバーを追加します：p.47～ p.49をご覧ください。

メディアを追加します：p.50～ p.52をご覧ください。

サーバーを追加します

トリガーがアクティブになったときにネットワークカメラが実行するアクション(メディアファイルを送信するサーバーはどれかなど)を認識できるようにサーバーとメディアを設定する必要があります。

まず、[サーバーを追加します]をクリックして、サーバーの設定画面を開きます。ここでは、トリガーがアクティブになったときの通知メッセージの送信先を指定することができます。合計5つのサーバーを設定することができます。

サーバーは、[電子メール]、[FTP]、[HTTP]、[ネットワークストレージ]の4種類があります。
設定するサーバーを[サーバータイプ]から選択してください。

サーバータイプ：電子メール

トリガーがアクティブになったときにメディアファイルを電子メールで送信する場合に設定します。

サーバーを追加します。**メディアを追加します。**

サーバー名:

サーバータイプ
☒ 電子メール
☐ FTP
☐ HTTP
☐ ネットワークストレージ

送信者の電子メールアドレス:

受信者電子メールアドレス:

サーバーのアドレス:

ユーザー名:

パスワード:

サーバーポート

☐ このサーバーはセキュアな接続が必要

サーバー名	: 設定するサーバーの名前を入力します。
送信者の電子メールアドレス	: 送信者のメールアドレスを入力します。
受信者電子メールアドレス	: 通知を受信するメールアドレスを入力します。
サーバーのアドレス	: メールサーバーのドメイン名かIPアドレスを入力します。
ユーザー名	: 必要に応じて、メールアカウントのユーザー名を入力します。
パスワード	: 必要に応じて、メールアカウントのパスワードを入力します。
サーバーポート	: 既定のメールサーバーポートは25に設定されています。別のポートを手動で設定できます。
このサーバーはセキュアな接続が必要	: SMTPサーバーがセキュリティーで保護された接続(SSL)を要求する場合は チェックを入れてください。

電子メール設定が正しく設定されているか確認するには[テスト]をクリックします。

[サーバーの保存]をクリックして設定を有効にします。

サーバータイプ:FTP

トリガーがアクティブになったときにメディアファイルをFTPサーバーに送信する場合に設定します。

[サーバーを追加します。](#)[メディアを追加します。▼](#)

サーバー名:

サーバータイプ
☐ 電子メール
☒ FTP
サーバーのアドレス:
サーバーポート:
ユーザー名:
パスワード:
リモートフォルダ名:
☒ パッシブモード
☐ HTTP
☐ ネットワークストレージ

- サーバー名 : 設定するサーバーの名前を入力します。
- サーバーのアドレス : FTPサーバーのドメイン名かIPアドレスを入力します。
- サーバーポート : 既定のメールサーバーポートは21に設定されています。別のポートを手動で設定できます。
- ユーザー名 : FTPアカウントのユーザー名を入力します。
- パスワード : FTPアカウントのパスワードを入力します。
- リモートフォルダ名 : メディアファイルを保存するフォルダ名を入力します。フォルダが存在しない場合は、自動的にFTPサーバー上にフォルダが作成されます。
- パッシブモード : 通常ファイアウォールは、外部からの新しい接続を受け入れません。ただしFTPサーバーがパッシブモードに対応している場合は、この項目を選択することでパッシブモードFTPを有効にし、データ転送がファイアウォールを通過できるようにすることができます。

FTP設定が正しく設定されているか確認するには[テスト]をクリックします。

[サーバーの保存]をクリックして設定を有効にします。

サーバータイプ: HTTP

トリガーがアクティブになったときにメディアファイルをHTTPサーバーに送信する場合に設定します。

サーバーを追加します。

メディアを追加します。▼

サーバー名:

サーバータイプ
☐ 電子メール
☐ FTP
☒ HTTP
URL:
ユーザー名:
パスワード:
☐ ネットワークストレージ

テスト

サーバーの保存

終了

サーバー名: 設定するサーバーの名前を入力します。

URL: HTTPサーバーのURLを入力します。

ユーザー名: 必要に応じてユーザー名を入力します。

パスワード: 必要に応じてパスワードを入力します。

HTTP設定が正しく設定されているか確認するには[テスト]をクリックします。

[サーバーの保存]をクリックして設定を有効にします。

サーバータイプ: ネットワークストレージ

トリガーがアクティブになったときにメディアファイルをネットワークストレージに送信する場合に設定します。
設定できるサーバーは1台です。

☒ ネットワークストレージ

ネットワークストレージの場所:
(例: \\my_nas\disk\folder)

ワークグループ:
ユーザー名:
パスワード:

テスト

サーバーの保存

終了

ネットワークストレージの場所: データを保存するパスを設定してください。

ワークグループ: ワークグループを入力します。

ユーザー名: 必要に応じてユーザー名を入力します。

パスワード: 必要に応じてパスワードを入力します。

NASサーバーの設定が正しく設定されているか確認するには[テスト]をクリックします。

テストが成功すると、マウントが成功したメッセージが表示されます。

[サーバーの保存]をクリックして設定を有効にします。

メディアを追加します

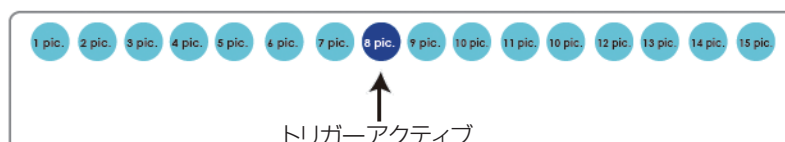
トリガーがアクティブになったときに送信されるメディアの種類を指定することができます。
[メディアを追加します]をクリックして、メディアの設定画面を開きます。合計5つのメディアを設定することができます。

メディアは、[スナップショット]、[ビデオクリップ]、[システムログ]の3種類があります。
設定するメディアを[メディアタイプ]から選択してください。

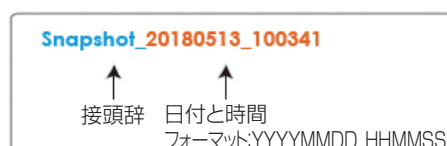
メディアタイプ：スナップショット

トリガーがアクティブになったときにスナップショットを送信する場合に設定します。

メディア名 : メディア設定の名前を入力します。
 ソース : スナップショットを作成する任意のビデオストリームを選択します。
 送信□プリイベントイメージ[0~7] : ネットワークカメラには、一定枚数のイメージを一時的に保持するバッファがあります。トリガーがアクティブになる前の画像として保存するイメージ数を指定します。
 送信□ポストイベントイメージ[0~7] : トリガーがアクティブになった後の画像として保存するイメージ数を指定します。
 例)トリガー前イメージとトリガー後イメージの両方が7に設定されている場合、トリガーがアクティブになると合計15個のイメージが作成されます。



ファイル名の接頭辞 : ファイル名の前に追加するテキストを入力します。(英数字で入力)
 ファイル名の最後に日付と時間を追加します : ファイル名に日付と時間を追加することができます。



[メディアの保存]をクリックして設定を有効にします。
 →「サーバー・メディア追加後」(p.53) へ

メディアタイプ: ビデオクリップ

トリガーがアクティブになったときにビデオクリップを送信する場合に設定します。

[サーバーを追加します。](#)
[メディアを追加します。](#)

メディア名:

メディアタイプ

添付メディア:

☐ スナップショット
 ☒ ビデオクリップ

ソース:

プリイベント録画: 秒 [0~9]

最大遅延時間: 秒 [1~20]

最大ファイルサイズ: KB [50~4096]

ファイル名の接頭辞:

☐ システムログ

[メディアの保存](#)
[終了](#)

メディア名 : メディア設定の名前を入力します。

ソース : ビデオクリップを作成する任意のビデオストリームを選択します。

プリイベント録画 : ネットワークカメラには、一定時間の画像を一時的に保持するバッファがあります。トリガーがアクティブになるまでの記録時間を指定できます。

最大遅延時間 : 最大遅延時間を秒単位で指定します。

●プリイベント録画は、ばらつくことがあります。動体が録画されない場合は、秒数を調整してください。

例) プリイベント録画を5秒、最大遅延時間を10秒に設定した場合、ネットワークカメラはトリガーがアクティブになった後、さらに4秒間録画を続けます。

最大ファイルサイズ : 最大ファイルサイズを指定します。

ファイル名の接頭辞 : ファイル名の前に追加するテキストを入力します。(英数字で入力)

[メディアの保存]をクリックして設定を有効にします。
→「サーバー・メディア追加後」(p.53) へ

51

メディアタイプ: システムログ

トリガーがアクティブになったときにシステムログを送信する場合に設定します。

サーバーを追加します。▼

メディアを追加します。

メディア名:

メディアタイプ

添付メディア:

- ☐ スナップショット
- ☐ ビデオクリップ
- ☒ システムログ

メディアの保存

終了

メディア名 : メディア設定の名前を入力します。

[メディアの保存]をクリックして設定を有効にします。
→「サーバー・メディア追加後」(p.53) へ

サーバー・メディア追加後

イベント設定に、設定したサーバーとメディアが一覧で表示されます。
 イベントトリガーを有効にするには、イベント>ステータスが[ON]になっている必要があります。
 イベントトリガーを停止する場合は、[ON]をクリックして[OFF]にするか[削除]をクリックしてイベント設定を削除します。
 リストからサーバーおよびメディア設定を削除するには[削除]をクリックします。既存イベント設定に適用されている場合は削除できません。
 削除する場合は、適用から外してください。

イベント

名前	ステータス	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	時間	トリガー	
Event1	ON	V	V	V	V	V	V	V	00:00~24:00	motion	削除

[追加](#)[ヘルプ](#)

サーバー

名前	タイプ	アドレス/ロケーション	
Email	email	MASPRO@maspro.co.jp	削除
FTP	ftp	ftp.maspro.co.jp	削除
HTTP	http	http://192.168.5.10/cgi-bin/upload.cgi	削除
MASPRO NAS	ns	C:Record	削除

[追加](#)

メディア

メディア空き容量: 17100KB

名前	タイプ	
スナップショット	snapshot	削除
ビデオクリップ	videoclip	削除
システムログ	systemlog	削除

[追加](#)

アプリケーション > モーション検出

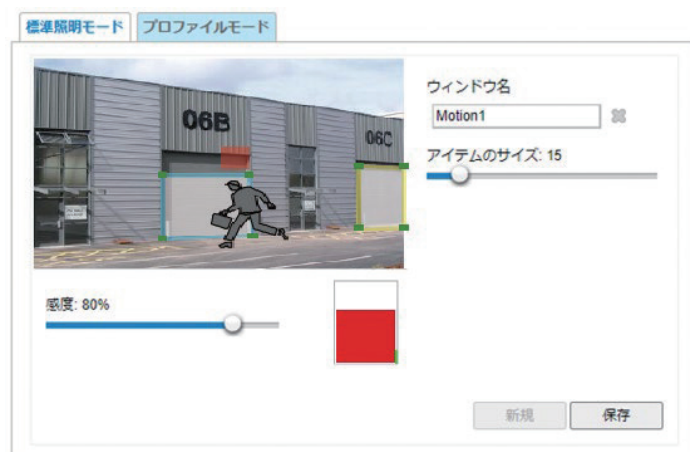
標準照明モード

☒ モーション検出を有効にする

以下の手順でモーション検出する範囲を設定します。

1. [新規]をクリックし、新しいモーション検出範囲を追加します。
2. [ウィンドウ名]にモーション検出画面の名前を入力します。
3. 画面上に4か所クリックして、モーション検出範囲を指定します。
 - コーナーマークの位置をドラッグして、モーション検出範囲の形状を変更することができます。
4. アイテムのサイズを変更して、トリガーを動作させるアイテムの最小サイズを変更します。
 - 画面中央にアイテムサイズの赤枠が表示されます。
 - 侵入してきた物体がアイテムサイズよりも大きいと、トリガーが作動します。ライブビューに合わせて、アイテムサイズを変更してください。
 - ウィンドウを削除するには、ウィンドウ名の右にある×マークをクリックします。
5. 感度のスライダーで、動く物体に対する感度を設定します。感度を高くすると、光の急激な変化(デイナイトモードの切換え、IR照明のオン・オフなど)で誤報が発生しやすくなるため注意が必要です。動きが検出されるためには、動きが0.3秒以上継続する必要があります。
6. [保存]をクリックして、設定を有効にします。
7. この機能を有効にするには[モーション検出を有効にする]を選択します。

バーセンテージ表示は、連続した画像の変化に応じて上下します。ネットワークカメラで動きが検出され、あらかじめ設定されたしきい値を超えたと判断されると、赤いバーが上昇します。また、モーション検出画面は赤で表示されます。



ご注意 レベルバー表示機能は、Microsoft Edge (IEモード表示)のみ対応します。

プロファイルモード

夜間モードやスケジュールモードなどのモーション検出画面の設定をする場合は、プロファイルモードをクリックして、[これらの設定を次で適用可能にする]にチェックを入れて設定します。

標準照明モード

プロファイルモード



ウィンドウ名
Motion1

アイテムのサイズ: 4

☒ これらの設定を次で適用可能にする:

☒ 夜間モード

☐ スケジュールモード [hh:mm]

新規 保存

以下の手順でプロファイルを設定します。

- 1.新しいモーション検出画面を作成します。
- 2.夜間モード]または[スケジュールモード]を選択します。
- 3.[保存]をクリックして設定を有効にします。

アプリケーション > タンパー検出

カメラタンパー検知

本カメラは、いたずら検知機能を備えているため、さまざまな妨害行為を検知することができます。

カメラタンパー検知

☒ タンパー検出トリガー期間 秒 [10~600]トリガー閾値 [0~100]☒ 暗すぎる画像の検出トリガー期間 秒 [1~10]トリガー閾値 [0~100]☒ 明るすぎる画像の検出トリガー期間 秒 [1~10]トリガー閾値 [0~100]☒ 不鮮明な画像の検出トリガー期間 秒 [1~10]トリガー閾値 [0~100]

保存

以下の手順でカメラのタンパー検知機能を設定します。

1. 設定したい条件を4つの検出の中から選択して、チェックを入れます。
チェックを入れた条件のトリガー期間(検出時間)とトリガー閾値(アクティブする値)を入力します。
トリガー期間：いたずらが実際のアラームと見なされるまでの時間を設定します。
トリガー閾値：検出の条件となるため、この値を小さくするとトリガーがアクティブになりやすくなります。

タンパー検出：カメラの向きを変えられたりすることを想定。

暗すぎる画像の検出：カメラが覆われたり、ペンキを吹付けられたりすることを想定。

明るすぎる画像の検出：ライトが向けられたりすることを想定。

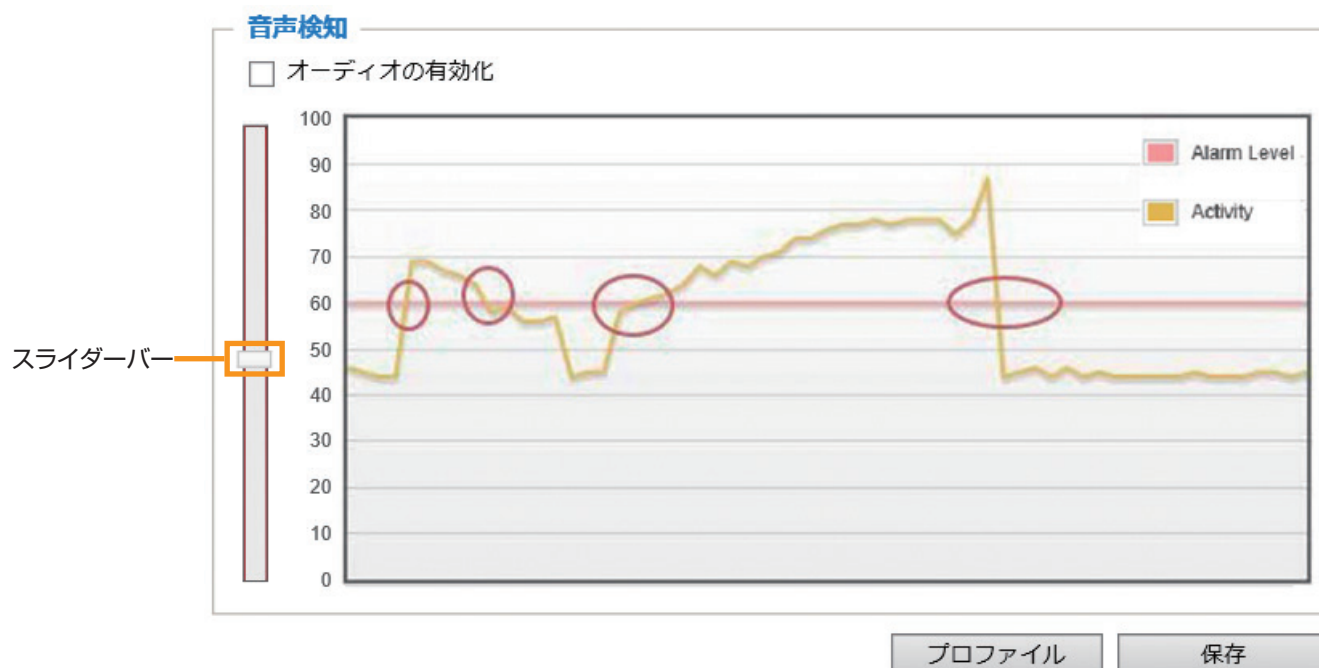
不鮮明な画像の検出：外部からの強い干渉による映像障害を想定。

2. イベント>イベント設定>トリガーで、イベントに設定します。

アプリケーション > 音声検知

音声検知

カメラでカバーされていないドア開閉音や窓ガラスが割れる音、また、機械稼働中などの騒がしい環境が、急に静かになったなどを検出することができます。



以下の手順で音声検知機能を設定します。

1. [オーディオの有効化]にチェックを入れて、[保存]をクリックして設定を有効にします。
 2. 黄色の音声レベルを見ながら、音声トリガーをアクティブにする閾値をスライダーバーで調整します。
 - 音声レベルが大きい場合は、「メディア > オーディオ」(p.29)の内部マイク端子の増幅率を下げてください。
 3. [保存]をクリックして、設定を有効にします。
- 赤い円は、設定した閾値で音声トリガーをアクティブにします。

[プロフィール]をクリックすると、夜間モードまたはスケジュールモードを設定することができます。

以下の手順でプロフィールを設定してください。

1. [本プロフィールを有効化]にチェックを入れます。
2. 夜間モードまたはスケジュールモードを選択します。
3. [保存]をクリックして設定を有効にし、[終了]をクリックします。

アプリケーション > パッケージ管理

パッケージ

パッケージをアップロード

この機能は使用しません。

リソースの状態

リソースの状態を表示します。

リソースの状態			
CPU 負荷:	77 %		
内部ストレージ合計容量:	32.253 MB	空き領域:	19.089 MB
メモリ合計容量:	128.792 MB	空き領域:	5.187 MB
SDカード合計容量:	29.703 GB	空き領域:	18.115 GB

内部ストレージをクリーンアップ

[Cleanup] をクリックすると、内部ストレージをクリーンアップします。

内部ストレージをクリーンアップ

注意! システム一時ファイルとFTPからアップロードされたファイルが消去されます。

Cleanup

パッケージ一覧

この機能は使用しません。

同意書

手動ライセンス

この機能は使用しません。

録画 > 録画設定

録画設定

[追加]をクリックして録画設定を登録します。

名前	ステータス	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	時間	ソース	保存先	削除
MASPRO	ON	V	V	V	V	V	V	V	00:00~24:00	stream1	SD	削除

追加

録画エントリ名を入力(英数字で入力)し、[この記録を有効にする]にチェックを入れます。

最適化録画を有効にする場合、[最適化録画を有効化]にチェックを入れます。

優先度を選択します。(優先順位が高いイベントが最初に実行されます)

ソースを選択します。

[1.トリガー]、[2.保存先]を設定します。

録画エントリ名: VIDEO1

☒ この記録を有効にする

☒ 最適化録画を有効化 (ヘルプ)

プリイベント録画: 5 秒 [0~9]

イベント後の録画: 5 秒 [0~10]

優先度: 標準

ソース: ストリーム1

1. トリガー

2. 保存先

トリガー

☒ スケジュール

☒ 日曜 ☒ 月曜 ☒ 火曜 ☒ 水曜 ☒ 木曜 ☒ 金曜 ☒ 土曜

時間

☒ 常に

☐ 送信元 00:00 対象 24:00 [hh:mm]

☐ ネットワークエラー

注意: 記録の通知内容を有効にするため設定して下さい [イベント](#) を設定してください

保存

終了

録画エントリ名

録画エントリ名を入力します。(英数字で入力)
[この記録を有効にする]にチェックを入れます。

最適化録画を有効化

イベントトリガーによるフレームレート制御を有効にします。

- 最適化録画を有効にした場合、イベントがトリガーされたときのみ、サーバーは最大フレームレートのストリーミングデータを記録します。それ以外の場合は、サーバーは通常の監視中1フレームデータのみを要求するため、帯域幅とストレージスペースを効果的に節約できます。
- 動きがないときは、1フレームデータの録画のみのため、コマ飛びの動画となります。
- モーション検出などのイベントトリガーを設定しない場合は、チェックを入れないでください。

プリイベント録画/イベント後の録画:

ネットワークカメラには画像データを一時的に保持するバッファがあります。この項目を選択し、トリガーがアクティブになる前と後の記録時間を指定すると、イベントが発生した際に、指定した時間だけに撮影された画像を保存することができます。

優先度

優先度を選択します。

- 優先順位が高いイベントが最初に実行されます。

ソース

ビデオストリームを選択します。

1.トリガー

トリガー

☒ スケジュール

☒ 日曜 ☒ 月曜 ☒ 火曜 ☒ 水曜 ☒ 木曜 ☒ 金曜 ☒ 土曜

時間

☒ 常に

☐ 送信元 対象 [hh:mm]

☐ ネットワークエラー

スケジュール :トリガーを発生させるスケジュールを設定します。サーバーはSDカードまたはNASへファイルの記録を開始します。

曜日 :イベントを起動させる曜日にチェックを入れます。

時間 :イベントを起動させる時間帯を設定します。

ネットワークエラー :ネットワークの障害発生をトリガーに設定します。サーバーはSDカードにファイルの記録を開始します。

2.保存先

保存先

保存先: ▼

録画ファイル管理

最大遅延時間: minutes [1~60]

最大ファイルサイズ: MB [100~2000]

ファイル名の接頭辞:

保存先 :SDまたはNASを選択します。

最大遅延時間 :最大遅延時間を分単位で指定します。

最大ファイルサイズ :最大ファイルサイズを指定します。

ファイル名の接頭辞 :ファイル名の前に追加するテキストを入力します。(英数字で入力)

[保存]をクリックして設定を有効にします。

ストレージ > ストレージ管理

SDカード管理

① SDカード状態

SDカードの状態を表示します。初めてSDカードを使用するときは、必ずフォーマットしてください。

② SDカードフォーマット

Ext4またはFAT32を選択します。

カメラからSDカードを取外してWindows/パソコンで録画した動画を確認する場合は、32GB以下のSDカードでFAT32フォーマットを選択してください。

64GB以上のSDカードはExt4フォーマットのみ対応のため、カメラからSDカードを取外してWindows/パソコンで録画した動画を確認することはできません。Windows/パソコンにダウンロードして動画を確認してください。

フォーマット：フォーマットを開始します。

③ SDカードコントロール

最小予約ストレージ領域 : SDカードの空き容量を設定します。
(10%の場合、90%で最大容量です)

循環ストレージを有効にする : チェックを入れたら、SDカードの最大容量を超えた場合に上書き保存します。

自動ディスククリーンアップを有効にする : チェックを入れたら、SDカードに録画ファイルを保存する日数を設定できます。
例) 7日で設定すると、録画ファイルはSDカードに7日間保存されます。

保存 : 設定を有効にします。

NAS管理

NASの取扱説明書もご覧ください。

SDカード管理

NAS 管理

NAS ステータス

NAS ステータス: デタッチ済み

合計サイズ:	0 MBytes	空き領域:	0 MBytes
使用領域:	0 MBytes	使用 (%):	0 %

NAS 設定

ネットワークストレージの場所:

(例: \\my_nas\disk\folder)

ワークグループ:

ユーザー名:

パスワード:

NAS コントロール

最小予約ストレージ領域: %

☒ 循環ストレージを有効にする

☒ 自動ディスク クリーンアップを有効にする

ファイル保持の最長期間: days

① NASステータス

NASのステータスを表示します。

② NAS設定

ネットワークストレージの場所: データを保存するパスを設定してください。

ワークグループ: ワークグループを入力します。

ユーザー名: 必要に応じてユーザー名を入力します。

パスワード: 必要に応じてパスワードを入力します。

NASサーバーの設定が正しく設定されているか確認するには[テスト]をクリックします。

テストが成功すると、マウントが成功したメッセージが表示されます。

[Mount]をクリックして、設定を有効にします。

[Unmount]をクリックすると、NASの設定を解除します。

③ NASコントロール

最小予約ストレージ領域: NASの空き容量を設定します。(10%の場合、90%で最大容量です)

循環ストレージを有効にする: チェックを入れると、NASの最大容量を超えた場合に上書き保存します。

自動ディスククリーンアップを有効にする: チェックを入れると、NASに録画ファイルを保存する日数を設定できます。
例) 7日で設定すると、録画ファイルはNASに7日間保存されます。

保存: 設定を有効にします。

ストレージ > コンテンツマネジメント

ネットワークカメラで、SDカードおよびNASサーバーの記録済み画像を検索します。
検索結果の一覧から、画像の再生とパソコンにダウンロードすることができます。

検索

検索

デバイスターゲット

☒ すべてのデバイス ☐ SD ☐ nas

トリガーの種類

☐ バックアップ ☐ システム起動 ☐ モーション
☐ ネットワークエラー ☐ 録画通知 ☐ 期間
☐ SD カード寿命予測 ☐ タンパー検出 ☐ VADP
☐ マニュアルトリガー ☐ 音声検知

メディアタイプ

☒ ビデオクリップ ☐ スナップショット ☐ テキスト

時間

次の期間遡って検索

送信元:

対象:

デバイスターゲット

検索するデバイスを選択します。

トリガーの種類

検索するトリガーを選択します。

メディアタイプ

検索するメディアタイプを選択します。

時間

検索対象とする期間および日時を選択します。

[検索]をクリックすると、指定したデータを検索結果に表示します。

検索結果

検索結果					
☐	 名前	device	トリガー...	開始時間	終了時間
☐	MASPRO	SD	期間	前週水曜日 午後3...	前週水曜日 午後4時29分
☐	MASPRO	SD	期間	前週水曜日 午後4...	前週水曜日 午後5時31分
☐	MASPRO	SD	期間	前週水曜日 午後5...	前週金曜日 午後5時50分
☐	MASPRO	SD	期間	今日 午前11時8分	今日 午後3時30分
☐	MASPRO	SD	期間	今日 午後3時30分	--

10

⏮

⏪

1

/ 1

⏩

⏭

 ダウンロード

 ロック/ロック解除

 JPEGからAVI

 削除

ダウンロード

ダウンロードしたいファイルにチェックを入れて[ダウンロード]をクリックすると、ファイルをダウンロードできます。

ロック/ロック解除

録画ファイルを誤って消去しないように。ロックしたいファイルにチェックを入れて[ロック/ロック解除]をクリックするとロック状態となり、チェックを入れて[削除]をクリックしても消去されません。
ロックを解除する場合は、ロックされているファイルにチェックを入れて、[ロック/ロック解除]をクリックすると解除できます。

JPEGからAVI

スナップショットのJPEG形式ファイルにチェックを入れて[JPEGからAVI]をクリックすると、AVIファイルに変換できます。

削除

検索結果一覧の中から削除したいファイルにチェックを入れて[削除]をクリックすると、削除できます。

再生

検索結果に表示された一覧からファイルをクリックすると、再生することができます。

ご注意

H.264で録画した動画は、IEモード表示ではなく通常モードで再生してください。H.265で録画した動画はブラウザーで再生できないため、パソコンにダウンロードして、VLC media playerで再生してください。



: 検索結果の前のファイルを選択します。



: 再生中の動画を一時停止します。一時停止中に  をクリックすると動画を再開します。

●動画を早送り・巻き戻しすることはできません。



: 検索結果の次のファイルを選択します。



: 動画を全画面表示します。(ESCキーで全画面表示を終了します)

- 動画を再生する場合は、パソコンにダウンロードして、VLC media playerで再生することをお勧めします。
- VLC media playerはWebサイトからダウンロードしてください。



VLC media player

サービスを有効にするにはエンドユーザーライセンス契約に同意してください

エンドユーザーライセンス契約

トレンドマイクロのエンドユーザーライセンス契約

ソフトウェア：トレンドマイクロコンシューマ製品およびプレミアムサポートサービス

バージョン：英語/多国

目的：試用および有償使用のサブスクリプションライセンス

日付：2017年3月

重要:以下の契約(以下「本契約」)は、TREND MICRO INCORPORATED または関連ライセンサー (以下「TREND MICRO」)が(A)「ソフトウェア」および付随する「ドキュメント」のライセンスを供与するか、または(B)個人ユーザーまたは法人の正式な代表者としての「お客様」に「プレミアムサポートサービス」を提供するために、この契約に同意することにより、トレンドマイクロと拘束力のある法的契約を締結することになります。その場合、本契約の条件は、お客様による本ソフトウェア、プレミアムサポートサービス、および関連するサブスクリプションサービスの使用に適用されます。記録用に本契約を印刷し、コピーを電子的に保存してください。

ソフトウェアをインストールまたは使用する前、またはプレミアムサポートサービスを使用する前に、本契約を読み、同意する必要があります。あなたが個人である場合、本契約を締結するには、18歳以上であり、あなたが住んでいる州、県、または国で成年に達している必要があります。お客様が法人に代わってソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスを取得する場合、お客様はその法人を代表し、法人に代わって本契約に同意する適切な権限を与えられている必要があります。

試用目的でソフトウェアをダウンロードまたはアクティベートする場合、またはソフトウェアのライセンスを購入する場合、および/または1つまたは複数のプレミアムサポートサービスを購入する場合は、[ライセンス契約の条項に同意します]を選択します。あなたまたはあなたが代表する団体が本契約の条件に同意しない場合は、「ライセンス契約の条件に同意しません」を選択してください。その場合、契約は成立せず、ソフトウェアの評価、購入、インストール、および使用、および/またはプレミアムサポートサービスの使用は許可されません。小売店からソフトウェアを購入し、本契約に同意しない場合、対応可能であれば、購入後30日以内に購入した小売店にレシートを添えて元のパッケージでソフトウェアを返品し、返品手数料を差し引いた金額で返金することができます。

注:本契約の第12条および第27条は、TREND MICROの責任を制限します。第3条、第13条、第14条、第15条、および第27条は、当社の保証義務およびお客様の救済を制限します。セクション4は、プレミアムサポートサービスの使用に適用される追加条件を提供します。セクション11は、TREND MICROが提供するソフトウェアおよびその他のツールの使用に関する重要な制限を定めています。

1. 適用される契約および条件

本契約は、トレンドマイクロコンシューマ製品(「ソフトウェア」)およびプレミアムサポートサービス(「プレミアムサポートサービス」)に適用されます。ソフトウェアをインストールするとき、および/またはプレミアムサポートサービスを使用するときに、同じバージョンまたは別のバージョンのトレンドマイクロのライセンス条項に同意するよう求められる場合があります。お客様が同意した最初の契約の条項は、お客様によるソフトウェアおよびプレミアムサポートサービスの使用に適用されます。本契約のすべての権利は、お客様が本契約に同意することを条件とします。

有料ライセンス:お客様がソフトウェアおよび/またはプレミアムサポートサービスのライセンスを購入した場合、本契約のセクション1、2、および4から32が適用されます。

試用ライセンス:お客様がソフトウェアのライセンスを購入しておらず、試用または評価目的でソフトウェアをインストールしている場合、お客様は「試用ユーザー」であり、本契約のセクション1、3から21、および24から32が適用されます。

2. 有料サブスクリプションライセンス

購入したソフトウェアライセンスごとに、トレンドマイクロは、以下のセクション7に定義されているように、お客様のサブスクリプション期間中、クライアントの最大数を超えないソフトウェアのみをインストールして使用するための、非独占的、譲渡不可、譲渡不可の権利をお客様に付与します。お客様の請求書、領収書、注文確認書、またはその他の購入書類に記載されているとおりにライセンス料が支払われたパーソナルまたはハンドヘルドコンピューター(それぞれ「コンピューター」)。家庭用製品ライセンスは、同一世帯のエンドユーザーが使用する必要があります。1台のコンピューターにつき1つのオペレーティングシステムにのみインストールできることを条件として、ソフトウェアがインストールされるコンピューターごとにライセンス料を支払う必要があります。本契約に基づいてお客様からトレンドマイクロに支払われるライセンス料または同様の支払いが、適用される税法または規制に従って、源泉所得税の控除または源泉徴収の対象となる場合、

(i)源泉徴収を行なった後、トレンドマイクロが当該源泉徴収に関する一切の責任を負わずに、正味額と同額を受領および保持するために必要な範囲で増額された金額をトレンドマイクロに支払うものとします。そのような源泉徴収が必要とされていないければ、受け取って保持していたであろうもの。(ii)適用される法律で義務付けられている支払い期間内に、関連する税務当局またはその他の当局に源泉徴収の全額を支払う。

3. (A) 試用サブスクリプションライセンス

あなたがソフトウェアの試用版ユーザーである場合、トレンドマイクロは、ダウンロード、インストール、および以下のセクション7で定義されているように、サブスクリプション期間中にコンピュータでソフトウェアの1つのコピーを使用すること。お客様のサブスクリプション期間が終了すると、本契約は自動的に失効します。ソフトウェアの[今すぐ購入]オプションを選択するか、www.trendmicro.com(「サイト」)などの1つまたは複数のスポンサー Webサイトにリストされているトレンドマイクロの認定再販業者に連絡することにより、ソフトウェアの有料ライセンスを購入できます。

試用版サブスクリプションライセンスの期間が終了する前の任意の時点で、ソフトウェアのサブスクリプションライセンスを購入し、ソフトウェアの有料サブスクリプションライセンスをアクティブ化(第6項に記載)した場合は、お客様は試用版サブスクリプションライセンスの残りの期間を放棄することに同意したものとします。したがって、試用版サブスクリプションライセンスを使い切りたい場合は、試用版サブスクリプションライセンスの期間が満了するまで、有料サブスクリプションライセンスを有効にしないでください。

サブスクリプションライセンスを購入しない場合、本契約の満了から15日以内にソフトウェアのすべてのコピーを破棄することに同意するものとします。適用法で認められる最大限の範囲で、試用目的で使用されるTREND MICROソフトウェアおよび関連ドキュメントは、いかなる種類のパフォーマンスの約束(「保証」)もなく、「現状のまま」提供されます。セクション13はトレンドマイクロの保証義務を制限することに注意してください。

(B) 個人使用のサブスクリプションライセンス

本契約に矛盾する規定があっても、本第3条(B)の条項は、お客様が本ソフトウェアの有効なロイヤリティフリーのサブスクリプションライセンスを取得した場合にも適用されるものとします。本第3条(B)に従って個人使用のためにソフトウェアをインストールまたは登録する場合、ソフトウェアを使用する前に本契約に同意する必要があります。お客様がソフトウェアのライセンスを購入しておらず、本セクション3(B)に従って個人使用目的でソフトウェアをインストール、アクティブ化、または使用している場合、お客様は「個人ユーザー」であり、セクション1および3(B)から32本契約はあなたに適用されます。お客様は、ライセンスを取得した日から、またはお客様またはトレンドマイクロがライセンスを終了するまで、お客様のアカウントをソフトウェアにアクティブ化した日から、お客様自身の個人的、非商業的使用のために、非独占的、譲渡不可、譲渡不可の条件でソフトウェアを使用することができます。トレンドマイクロは、理由の有無にかかわらず、5日前の書面による通知により、本ライセンスおよびお客様のアクセスを終了する権利を留保します。これには、ソフトウェアの中止が含まれますが、これに限定されません。終了時には、ソフトウェアおよびドキュメントのすべてのコピーを削除または破棄し、ソフトウェアの使用を停止する必要があります。第24条に定める条項は、いかなる終了にも適用されることに注意してください。サブスクリプションの期間中は、オンラインサポートリソース/技術文書のみを利用できます。電子メールまたは電話によるテクニカルサポートは利用できません。適用法で認められる最大限の範囲で、個人使用目的で使用されるソフトウェアおよび関連ドキュメントは、いかなる種類の保証もなく「現状のまま」提供されます。

4.以下の追加条件は、プレミアムサポートサービスの購入者にも適用されるものとします。

A. 変更

トレンドマイクロが、プレミアムサポートサービスを強化、縮小、変更、または中止し、それらの使用に新しい条件または異なる条件を課す権利を留保する場合。トレンドマイクロは、適用される条件をトレンドマイクロのWebサイトに掲載することにより変更または更新する場合があり、かかる条件を定期的に確認するのはお客様の責任です。利用規約の変更または更新がトレンドマイクロのWebサイトに掲載された後にプレミアムサポートサービスを使用することは、適用法で許可される範囲で修正されたトレンドマイクロの利用規約に同意したことを意味します。

B. サービスの提供

プレミアムサポートサービスの提供の一環として、トレンドマイクロの担当者は、フォローアップとアドバイスのために、必要に応じて電話または電子メールでプレミアムサポートサービスを提供するものとします。

C. サポートソフトウェアツール

(i) プレミアムサポートサービスの提供

プレミアムサポートサービスを提供するにあたり、トレンドマイクロは、(1)特定のサポートソフトウェアツールをトレンドマイクロのWebサイトからダウンロードするか、電子メールでインストールすることをお客様に要求する、および/または(2)リモートアシストツールを使用してトレンドマイクロを有効にする許可をお客様に要求することができます。お客様のコンピュータにリモートでアクセスして制御すること。トレンドマイクロが提供するさまざまなサポートリモートソフトウェアおよびアシストツールは、トレンドマイクロまたはそのサードパーティのライセンサーおよびサプライヤーが所有し、まとめて「サポートソフトウェアツール」と呼ばれることがあります。サポートソフトウェアツールは、より困難な問題の分析、診断、解決、および/またはシステム最適化機能の提供に使用されます。サポートソフトウェアツールは、プレミアムサポートサービスの一部として、またはプレミアムサポートサービスと共に使用するためにのみ使用でき、それ以外の目的では使用できません。サポートを受けることを選択することにより、お客様は、リモートアクセスを含め、お客様の問題に対処するために必要と思われるサポートソフトウェアツールをトレンドマイクロが使用することを許可することに同意するものとします。あなたのパソコンでリモートアクセスが使用されている場合、リモートセッションからソフトウェアが残っていないことを理解しています。ただし、レポートが作成され、セッションが記録される場合があります。また、お客様は、サポートソフトウェアツールをダウンロードすることにより、お客様のコンピュータにサポートソフトウェアツールをインストールすることを選択した場合、これらの条件に従ってサポートソフトウェアツールを使用することに同意することを理解するものとします。

(ii) ソフトウェアツールをサポートするためのライセンス

お客様がこれらの利用規約に同意すると、トレンドマイクロは、次のいずれか早い方の時点まで、特定のサポートソフトウェアツールをインストールして使用する非独占的、譲渡不可、譲渡不可の権利をお客様に付与します。サポートソフトウェアツールのどの使用が必要か、または(b)サポートソフトウェアツールが自動的に非アクティブ化され、操作不能になるまで。(i)サポートソフトウェアツールの一部をサブライセンス、賃貸、販売、リースすること、またはサポートソフトウェアツールを第三者に提供することはできません。(ii)リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、翻訳、サポートソフトウェアツールのソースコードの発見、またはサポートソフトウェアツールからの派生物の作成を試みることを。または(iii)本契約で許可されていない方法でサポートソフトウェアツールを使用すること。

D. 1回限りおよび年間サブスクリプションのプレミアムサポートサービス

適用される料金の支払いを条件として、購入したプレミアムサポートサービスに応じて、トレンドマイクロは、プレミアムサポートサービスを1回限りまたは年間サブスクリプションベースで提供します。年間サブスクリプションプレミアムサポートサービスは、購入から12か月後、または注文書または注文確認書に記載されているその他の期間で終了します。1回限りで提供されるプレミアムサポートサービスには、かかるプレミアムサポートサービスの購入から60日以内にアクセスする必要があることに注意してください。

E. プレミアムサポートサービスの説明

購入する前に、購入するプレミアムサポートサービスの説明を確認し、種類を選択するのはお客様の責任です。一部のオプションでは、年単位ではなく1回限りの特定の特典の使用が提供されますが、他のオプションでは、1台のPCのみに特典が提供されたり、さまざまなデバイスに特典が提供されたり、特定のトレンドマイクロコンシューマ製品のサブスクリプションライセンスの購入が必要になる場合があります。お客様のニーズに最適なプレミアムサポートサービスを決定できるのは、お客様だけです。

F. プレミアムサポートサービスの有効化/登録

プレミアムサポートサービスは、購入時に有効になります。有効なシリアル番号が提供され、プレミアムサポートサービスを受けるために必要になります。有効な電子メールアドレスは、更新目的および必要な法的通知の配信にも必要です。

5. アップデート

ソフトウェアが効果的に機能するには、アップデートが必要です。「アップデート」とは、ソフトウェアのセキュリティコンポーネントの新しいパターン、定義、または規則、およびソフトウェアと付随するドキュメントに対するマイナーな機能強化です。アップデートは、以下の第7条に定義されているサブスクリプション期間中にのみダウンロードして使用することができ、アップデートがダウンロード可能になった時点で有効なトレンドマイクロのエンドユーザーライセンス契約の条件に従うものとします。ダウンロードすると、アップデートは本契約の目的上「ソフトウェア」になります。更新には、ダウンロード前に同意する必要がある追加または異なるライセンス条項が必要になる場合もあります。更新は、ソフトウェアの以前にライセンスされた部分を置き換えますが、コンピュータまたは登録ユーザーの許可された数を増やすことはありません。トレンドマイクロは、ソフトウェアの重大な変更または本契約の条項の変更について、登録時に指定されたアドレスに電子メールを送信し、トレンドマイクロのメインWebサイト(www.trendmicro.com)に掲載することにより、合理的な努力を払って通知します。これらの変更を知るためにウェブサイトをチェックするのはあなたの責任です。これらの条件の変更は、トレンドマイクロの単独かつ排他的な裁量で行うことができ、新しいサブスクリプションについては本契約(ここに記載)に同意した時点で有効になり、既存のすべてのユーザーについては、トレンドマイクロの投稿から30暦日後に有効になります。トレンドマイクロのWebサイト(www.trendmicro.com)の新しい条件。お客様は、変更された本契約の条項に拘束されることに同意するものとします。変更された条件に同意しない場合、ソフトウェアの使用は許可されず、サブスクリプションを直ちに終了する必要があります。残りの未使用のサブスクリプションライセンス料金の比例配分の払い戻しを受ける権利があります。

6. ソフトウェアの有効化/登録

セクション8に規定されているアップデートおよびその他の利用可能な「サブスクリプションサービス」を受け取るには、ソフトウェアをアクティブ化するか、トレンドマイクロに登録する必要があります。これらの管理により、本ソフトウェアが有効にライセンスされたコンピュータでのみ動作し、有効にライセンスされたエンドユーザーが適切なサブスクリプションサービスを受けられるようになります。登録には、有効な製品シリアル番号と、更新およびその他の法的通知のための有効な電子メールアドレスが必要です。製品登録情報に加えて、本ソフトウェアを使用することにより、本ソフトウェアのサービスおよび機能を厳密に改善するために、お客様およびお客様のコンピュータに関する特定の情報がトレンドマイクロが所有または管理するサーバーに送信されることになります。セキュリティスキャン、マルウェアの識別、脅威からの保護を改善します。

7. サブスクリプション期間

有料サブスクリプションライセンスの場合:ソフトウェアの有料サブスクリプションライセンスの「サブスクリプション期間」は、製品シリアル番号を受け取った日に始まり、購入したサブスクリプション月数に応じて、12、24、または36か月後に終了します。セカンダリライセンスは、セカンダリライセンスのアクティブ化の日付に関係なく、プライマリライセンスと同じ日に期限切れになることに注意してください。お客様のソフトウェアが引き続き機能または動作し、サブスクリプション期間後も該当するサブスクリプションサービスを受け続けるには、ソフトウェアアップグレードを購入するか、製品シリアル番号のサブスクリプション期間を更新する必要があります。ソフトウェアのアップグレードおよびサブスクリプション期間の更新には、追加または異なるライセンス条項が必要になる場合があります。試用版サブスクリプションライセンスの場合:試用の「サブスクリプション期間」は、製品のシリアル番号を受け取った日から始まり、次のいずれか早い日までです。

(1)30日後、60日後、または90日後(規定または許可された試用期間に応じて)。または(2)お客様が本ソフトウェアの有料サブスクリプションライセンスをアクティブ化した日。

8. サブスクリプションサービス

A. 更新

サブスクリプション期間中、登録ユーザーおよび試用ユーザーは、ライセンスを取得した各コンピュータでソフトウェアと共に使用するための更新を受ける権利があります。

B. 技術サポート

(a)サブスクリプション期間中、登録済みの有効なライセンスを取得したトライアルユーザーは、営業時間内に電子メールおよび/またはWebベースの標準テクニカルサポートを受けることができますが、特定の限定された言語のみで提供されます。

重要:有料または無料の電話サポートは、特定の製品の登録済みまたは有効なライセンスを取得したエンドユーザーが、一部の国でのみ利用できる場合があります。詳細については、www.trendmicro.com/support/consumerを参照してください。

(b)有限責任に関する規定を含むがこれらに限定されない本契約の条件は、トレンドマイクロまたはその他のサードパーティツールの使用またはアクセスを含む、サブスクリプションライセンスに関連してお客様に提供されるすべてのテクニカルサポートサービス、またはソリューション(以下「サポートツール」)に適用されるものとします。

このようなサポートツールおよび関連サービスは、使用料なしで「現状のまま」提供され、いかなる種類の保証もありません。トレンドマイクロは、そのようなサポートツールが安全であること、またはエラーがないことを保証しません。これらのサポートツールの使用に起因するすべてのリスクは、お客様が負うものとします。

適用される法律で許可される最大限の範囲で、トレンドマイクロとその関連会社およびサプライヤーは、サポートツール（それは明示または黙示を問わず、制定法、慣習法、または商取引の使用法これには、所有権の保証または条件、第三者の権利の非侵害、満足のいく品質、商品性、および特定の目的への適合性が含まれますが、これらに限定されません）に関するすべての表明および保証を免責し、除外します。

9. その他のサービス

サブスクリプション期間中、トレンドマイクロは、特定の消費者向け製品の登録ユーザーおよび試用ユーザーに、ライセンスを取得した各コンピュータでソフトウェアと共に使用するオプションのサービスを有効にする権利を付与します。これらのサービスは、ソフトウェアが購入された国外にある可能性があるトレンドマイクロのサーバーに対して外部クエリを行うことにより、コンテンツを選別およびチェックする場合があります。

10. 自動更新サービス

オンラインサブスクリプションの購入には、自動更新サービスが含まれています。サブスクリプション期間が終了すると、サブスクリプションサービスが更新され、その時点での更新価格（および適用される税金）が自動的に（「自動更新サービス」）、お客様の支払い方法に請求されます（「自動更新サービス」）。購入後いつでも、<https://account.trendmicro.com/>で、自動更新のキャンセルを含め、サブスクリプション設定を変更できます。年間自動更新サービスの料金は、更新の購入日から30日以内であれば払い戻しの対象となります。

11. 使用制限

トレンドマイクロが提供する本ソフトウェアおよびその他のソフトウェアまたはツールは、ライセンス供与されたものであり、販売されたものではありません。トレンドマイクロとそのサプライヤーは、ソフトウェアのそれぞれの権原、著作権、企業秘密、特許権、その他の知的財産権、およびドキュメントのそれぞれの著作権を所有し、本契約で明示的にお客様に付与されていないすべての権利を留保します。お客様は、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、またはサブライセンスすること、本ソフトウェアのコンポーネントを個別に使用すること、本ソフトウェアを商業目的で利用すること、または本ソフトウェアを使用して他者にサービスを提供しないことに同意するものとします。また、お客様は、本ソフトウェアのいかなる部分についても、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、修正、翻訳、逆アセンブル、ソースコードの発見、または派生物の作成を試みないことに同意するものとします。お客様は、タイムシェアリング、サービスビューロー、またはその他の取り決めを通じて、第三者が本ソフトウェアの使用または機能から利益を得ることを許可しないことに同意するものとします。お客様は、犯罪行為を構成する行為を助長したり、他者によるソフトウェアの使用および享受を妨害する活動に従事したり、ソフトウェアまたはサービスを利用して、個人の場所や活動を明示せずに追跡または監視したりしないことに同意するものとします。また、これらの禁止行為を行うことを他者に許可しないことに同意するものとします。お客様は、トレンドマイクロが本ソフトウェアの使用または配布を許可した地域でのみ、本ソフトウェアを使用することができます。

12. 限定責任

A. 以下のセクション12(B)に従い、適用法で許可される範囲で、いかなる場合でも、Trend Microまたはそのサプライヤーは、お客様に対して責任を負わないものとします。

(i) 本契約の締結時に合理的に予見できなかった損失について、または(ii) あらゆる種類の結果的、特別、偶発的または間接的な損害、またはデータまたはメモリの損失または破損、システムクラッシュ、ディスク/システムの損傷、利益または貯蓄の損失、または本契約に起因または関連する損失。本契約または本ソフトウェア、プレミアムサポートサービスまたはサブスクリプションサービス。

これらの制限は、TREND MICROがそのような損害の可能性について知らされていたとしても、契約違反、過失、厳格な製造物責任、またはその他の訴訟原因または責任の理論に関係なく、訴訟の形式に関係なく適用されます。

B. 第12条(A)は、Trend Microまたはそのサプライヤーの過失または詐欺に起因する死亡または人身傷害の場合、または法律で許可されていないその他の責任を制限または除外することを求めるものではありません。

C. 上記の第12条(A)および第12条(B)に従い、契約違反、過失、厳格な製造物責任、またはその他の訴訟原因のいずれであるかを問わず、いかなる請求に対しても、Trend Microまたはそのサプライヤーの責任の総額は、お客様が支払った、または支払うべきソフトウェアの料金を超えないものとします。

D. この第12条における責任の制限は、顧客が自宅やビジネスのさまざまな目的でコンピュータを使用しているという事実に基づいています。したがって、ソフトウェア、プレミアムサポートサービスまたはサービスにエラーが発生し、コンピュータの問題および関連するデータ損失が発生した場合に備えて、必要に応じて適切なバックアッププランおよび保護策を実装できるのは、お客様だけです。これらのビジネス上の理由により、お客様は、このセクション12の責任の制限に同意し、この条項に同意しない場合、ソフトウェア、プレミアムサポートサービス、およびサブスクリプションサービスに対して請求される料金が高くなることを認めます。

13. 限定保証

トレンドマイクロは、(a)本ソフトウェアが購入日から30日間、付属のドキュメントに従って実質的に機能すること、(b)お客様のコンピュータを修理またはトラブルシューティングするために商業的に合理的な努力を払い、プレミアムサポートサービスを実行することを保証します。合理的なスキルと注意を払ったプロフェッショナルな態度。トレンドマイクロは、本ソフトウェアおよびプレミアムサポートサービスがお客様の要件を満たしていること、またはお客様による本ソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスの使用が中断されず、エラーがなく、タイムリーで安全であること、およびお客様のソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスの使用が正確または信頼できるものであり、プレミアムサポートサービスがお客様の期待を満たすこと。または、エラーまたは問題が修正または修正されること。悪意のある望ましくない電子コンテンツの性質と量を考慮して、トレンドマイクロは、ソフトウェア、プレミアムサポートサービスまたはアップデートが完全または正確であること、または悪意のあるまたは望ましくないアプリケーションおよびファイルのみを検出、削除、または消去することを保証しません。適用法で認められる最大限の範囲で、本契約に従ってダウンロードまたは取得したサポートソフトウェアツールまたはマテリアルは、いかなる種類の保証もなく「現状のまま」提供されます。お客様が有するその他の権利については、セクション16を参照してください。この限定的保証は、ソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスのエラーが、ソフトウェア、プレミアムサポートサービスの事故、乱用、変更、または誤用の結果である場合、またはプログラムでのソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスの使用に起因する問題またはエラーの結果である場合は無効です。類似の機能または機能を備えているか、ソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスと互換性がないもの。トレンドマイクロは、元の限定保証期間の残りの期間、交換用ソフトウェアまたは更新プログラムを保証します。

オーストラリア居住者のみ:この限定保証に基づいて請求を行うには、お住まいの地域のトレンドマイクロサポートグループの担当者に連絡する必要があります。連絡先番号は、www.trendmicro.com/support/consumerで見つけることができます。また、オーストラリアのライセンサーであるTrend Micro Australia Pty Ltd.に電子メールでlegalnotice@trendmicro.comに連絡するか、Level 15, 1 Pacific Highway, North Sydney, New South Wales, 2060, Australiaに郵送することもできます。Trend MicroおよびTrend Micro Australia Pty Ltd.のいずれも、本条に基づいて請求を行う際にお客様が被った費用について責任を負わないものとします。この保証の利点は、オーストラリア消費者法に基づいてお客様が受けることができるソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスに関連するその他の権利および救済策に追加されるものです。当社の商品には、オーストラリア消費者法の下で除外できない保証が付いています。お客様は、重大な故障に対する交換または返金、およびその他の合理的に予見可能な損失または損害に対する補償を受ける権利があります。また、商品の品質が許容範囲に達しておらず、その故障が重大な故障に至らない場合は、商品の修理または交換を受ける権利があります。

14. 救済措置

ソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスが上記第13条の限定保証(「限定保証」)に準拠していない場合、トレンドマイクロは独自の選択により、(a)該当する場合、アップデートでエラーを修正します。(b)helpエラーを回避します。(c)プレミアムサポートサービスを再実施する。(d)保証期間中に限定保証に基づく請求をトレンドマイクロに通知することを条件に、限定保証の違反日以降、ソフトウェアの費用または未使用のプレミアムサポートサービスの前払いサブスクリプション料金を返金します。オーストラリア居住者のみ:ソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスが限定保証に準拠しておらず、その障害がオーストラリアの消費者法に基づく重大な障害ではない場合、トレンドマイクロは(a)該当する場合、アップデートでエラーを修正します。(b)helpエラーを回避します。(c)プレミアムサポートサービスを再実施する。または(d)ソフトウェアの費用またはプレミアムサポートサービスの未使用の前払いサブスクリプション料金を返金します。適用法で認められる最大限の範囲で、本セクションは、トレンドマイクロの全責任と、ソフトウェアのエラーに対するお客様の唯一の救済策を規定しています。

15. その他の保証または救済の禁止

第13条の明示的な限定的保証を除き、本契約の条項は、法令、慣習法、商慣習、取引過程またはその他によって暗示されるすべての保証、(明示的または黙示的)、条件、約束、条件および義務に代わるものです。これには、商品性、特定の目的への適合性、および第三者の権利を侵害していないことの黙示の保証が含まれますが、これらに限定されません。これらはすべて、法律で許可される最大限の範囲で除外されます。ソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスに関連する、免責できない黙示の保証は、お客様がソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスを取得した日から30日間(または法律上の最低要件)に限定されるものとします。

16. 消費者とデータの保護

欧州経済地域の加盟国を含む一部の国、州、州では、責任の特定の除外または制限を認めていないため、上記の責任の除外または制限、および保証の否認(セクション12および13)は、お客様に完全には適用されない場合があります。お客様には追加の権利と救済がある場合があります。そのような可能な権利または救済策は、もしあれば、本契約の影響を受けないものとします。

17. データ保護規則

ソフトウェアの使用は、特定の法域におけるデータ保護法または規制の対象となる場合があります。これらの法律または規制を遵守する必要があるかどうか、およびその方法を決定する責任はお客様にあります。トレンドマイクロは、製品またはサービスの提供またはサポートに関連して、お客様から受け取った個人データまたはその他のデータを、お客様にサービスを提供するため、または義務を履行するために必要な、お客様に代わってデータ処理者としてのみ処理します。このようなデータは、お客様の管轄外(欧州連合外を含む)のトレンドマイクロおよびそのサプライヤーのサーバーに転送される場合があります。製品およびサービスに関する当社のプライバシーポリシーは、https://www.trendmicro.com/en_us/about/legal/privacy-policy-product.htmlでご覧いただけます。

18. 電子通信への同意

トレンドマイクロは、ソフトウェア、プレミアムサポートサービスおよびサブスクリプションサービス、またはお客様が提供する情報の使用に関する法的通知およびその他の通信(「通信」)を送信する必要がある場合があります。トレンドマイクロは、製品内通知または電子メールを介してお客様の登録済み電子メールアドレスに通信を送信するか、またはそのサイトに通信を投稿します。本契約に同意することにより、お客様は、これらの電子的手段のみを通じてすべてのコミュニケーションを受け取ることに同意し、サイト上のコミュニケーションにアクセスできることを認め、実証するものとします。あなたがセカンダリユーザーである場合(以下のセクション23を参照)、プライマリユーザーを通じてすべてのコミュニケーションを受信することに同意するものとします。

19. 守秘義務

あなたは、製品のシリアル番号が他の人にとって潜在的な価値があることを認めます。したがって、お客様は、それらを機密として扱い、本契約に従ってお客様のソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスを登録するためだけに使用し、以下のセクション22および23で許可されている場合を除き、他の人に開示または利用可能にしないことに同意するものとします。

20. バックアップ

お客様がソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスを使用している限り、お客様は、コンピュータのプログラムおよびファイル(「データ」)を別のメディアに定期的にバックアップすることに同意するものとします。ソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスのエラーによってコンピュータに問題が発生した場合、データが失われる可能性があり、トレンドマイクロはそのようなデータの損失について責任を負わないことを、お客様は認めるものとします。

21. 監査

エンティティライセンスの場合のみ:合理的な通知を行い、通常の営業時間内に、トレンドマイクロは、本契約の遵守を確認するために、お客様によるソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスの使用を監査する権利を有するものとします。監査によりライセンスのないコンピュータが明らかになった場合、お客様またはお客様が代表する事業体は、通知から15日以内に、ライセンスのないコンピュータまたはプレミアムサポートサービスのライセンスのない使用に対するトレンドマイクロの料金をその時点の料金で支払うことに同意するものとします。

22. 一次利用者

家庭用ライセンスのみ:最初に登録した場合、お客様は主要なユーザーとなり、製品ライセンスに基づくソフトウェアのすべての使用に責任を負います。お客様は、製品シリアル番号の機密性と使用を管理し、お客様の家庭内の他のエンドユーザーとのみ共有する権利を有します。お客様は、法的通知およびその他の通知の連絡先として機能し、そのような目的でトレンドマイクロに正確かつ最新の電子メールアドレスを提供する責任を負います。また、コミュニケーション(上記のセクション18で定義)をセカンダリユーザーと共有する責任もあります。

23. 二次利用者

家庭用ライセンスのみ:あなたが最初に登録したユーザーでない場合、あなたはセカンダリユーザーであり、プライマリユーザーはソフトウェアの使用とサブスクリプション期間を管理できます。主要ユーザーは、お客様に代わってすべての法的およびその他のコミュニケーション(上記のセクション18で定義)を受け取ります。二次ユーザーとして、製品のシリアル番号を使用して製品をインストールする権限があります。セカンダリユーザーとして、セクション3および22を除く、本契約のすべてのセクションが適用されます。

24.一時停止または終了

トレンドマイクロは、お客様が本契約の重要な条項または条件に従わなかった場合、または電子通信に同意しなくなった場合、本契約に基づくお客様の権利、およびソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスへのお客様のアクセスを直ちに予告なしに終了することができます。トレンドマイクロはまた、独自の裁量でプレミアムサポートサービスを拒否または一時停止する権利を留保します。お客様は、ローカルのトレンドマイクロオフィスに連絡することにより、かかる終了に対して異議を申し立てる権利を有します。このオフィスは、異議申し立てプロセスの詳細を提供します。そのような終了時に、お客様はソフトウェアのすべてのコピーを破棄することに同意するものとします。お客様は、ソフトウェアのすべてのコピーを破棄することにより、いつでも本契約を終了することができます。セクション1から5および11から30は、本契約の終了後も存続します。

25.不可抗力

トレンドマイクロは、お客様の行為、行政当局または軍事当局の行為、政府の優先事項、地震、火災、洪水、伝染病、検疫、エネルギー危機、ストライキに起因するパフォーマンスの遅延または失敗に起因する、主張または実際の損失または損害について責任を負いません。労働争議、戦争、暴動、テロ、事故、不足、輸送の遅延、または合理的に制御できないその他の原因。トレンドマイクロは、合理的に可能な限り速やかに義務の履行を再開するものとします。

26. 輸出管理

本ソフトウェアは、米国輸出管理規則に基づく輸出規制の対象となります。したがって、本ソフトウェアは、禁輸国または適用される貿易制裁の対象となる国のエンティティ、またはその居住者または市民、または適切な政府ライセンスのない禁止または拒否された個人またはエンティティに輸出または再輸出することはできません。お客様は、本ソフトウェアに関連する米国の輸出管理法の違反について責任を負います。本契約に同意することにより、お客様は、現在米国が通商を禁止している国の居住者または市民ではないこと、およびその他の方法でソフトウェアの受け取りを禁止されていないことを確認したことになります。

27.米国居住者に対する拘束力のある仲裁および集団訴訟の権利放棄

このセクションをよくお読みください。このセクションは、お客様とTREND MICROとの間の紛争に関するお客様の法的権利に影響を与えます。本項の目的上、「TREND MICRO」とは、TREND MICRO INCORPORATED およびその子会社、関連会社、役員、取締役、従業員、代理人、および供給者を意味します。

A.紛争

本契約で使用されているように、「紛争」とは、本ソフトウェアおよび/またはプレミアムサポートサービス、および本契約に基づく、またはソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスに関して、接触、保証、不法行為(制限、詐欺、虚偽表示、詐欺的誘導、隠蔽、省略、過失、変換、不法侵入、厳格責任、および製造物責任を含む)、像(以下を含む)制限なく、消費者保護および不正競争法)、規制、条例、またはその他の法的または衡平法上の根拠または理論。「紛争」には、法律の下で許容される最も広い意味が与えられます。

B.非公式の交渉

お客様とトレンドマイクロは、仲裁を開始する前に、いかなる紛争も誠意を持って解決することに同意するものとします。お客様とトレンドマイクロが書面で別段の合意をしない限り、非公式交渉の期間は、お客様またはトレンドマイクロが第27C条(紛争の通知)。お客様とトレンドマイクロは、どちらも非公式な交渉期間が終了する前に仲裁を開始しないことに同意します。

C.紛争の通知

お客様がトレンドマイクロに紛争通知を提出する場合、お客様は米国郵便でトレンドマイクロ社宛てに送付する必要があります。宛先: Arbitration Notice, Legal Department, 225 East John Carpenter Freeway, Suite 1500, Irving, TX 75062, (a)お客様の名前、住所、および連絡先情報、(b)お客様のソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスのシリアル番号(お持ちの場合)、(c)紛争の原因となった事実、および(d)お客様が求める救済。トレンドマイクロがあなたに紛争の通知を出す場合、当社は米国郵便であなたの請求先住所がある場合はその住所に、そうでない場合はあなたの電子メールアドレスに、(a)以下の目的でのトレンドマイクロの連絡先情報を記載した書面による声明を送付します。(b)紛争を引き起こした事実、および(c)トレンドマイクロが求める救済。

D.拘束力のある仲裁

お客様とTREND MICROは、お客様とTREND MICROが上記の非公式な交渉によって紛争を解決しない場合、紛争を解決するためのあらゆる努力は、以下に定める仲裁手続きに従って拘束力のある仲裁によってのみ行われることに同意するものとします。あなたは、拘束力のある仲裁に同意することにより、裁判官または陪審員の前で法廷ですべての紛争を訴訟する(または当事者またはクラスのメンバーとして参加する)権利を放棄することを理解し、認めるものとします。代わりに、連邦仲裁法に基づく限定的な控訴権を除き、すべての紛争は中立の仲裁人の前に解決されることを理解し、同意するものとします。当事者を管轄する裁判所は、仲裁人の裁定を執行することができます。非公式の交渉および仲裁の合意に含まれない唯一の紛争は、お客様またはトレンドマイクロ(またはお客様またはトレンドマイクロのライセンサー)の知的財産権の有効性を行使、保護、または考慮する紛争のみです。

E. 少額訴訟裁判所

上記にかかわらず、お客様は、管轄権の制限および紛争における問題の金額を含む、少額裁判所のすべての要件が満たされている場合、少額裁判所で紛争を訴える権利を有します。本契約にこれと矛盾する規定があっても、お客様は、お客様の居住郡またはテキサス州ダラス郡の少額裁判所にのみ紛争を提起することに同意するものとします。

F. 集団訴訟の放棄

法律で許可されている範囲で、お客様とトレンドマイクロは、仲裁、法廷、またはその他の方法であるかにかかわらず、紛争を解決または訴訟するための手続きは、個人ベースでのみ行われ、お客様もトレンドマイクロも求めないことに同意するものとします。集団訴訟、代表訴訟、集団訴訟、私的司法長官訴訟として、またはお客様またはトレンドマイクロが代表として行動する、または行動することを提案するあらゆる手続きにおいて、紛争を審問すること。さらに、お客様とTREND MICROは、お客様、TREND MICRO、およびかかる仲裁または手続きのすべての当事者の事前の書面による同意なしに、仲裁または手続きが他の仲裁または手続きと結合、統合、または結合されないことに同意するものとします。

G. 仲裁手続き

紛争の仲裁は、米国仲裁協会(「AAA」)の商事仲裁規則によって、またそれに従って行われます。AAAに関する情報、およびその前に仲裁を開始する方法は、www.adr.orgで入手できます。お客様が個人の消費者であり、個人または家庭での使用のためにソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスを使用する場合、または紛争の価値が75,000ドル以下の場合、AAAの消費者関連の紛争の補足手続きも適用されます。AAAの規則または手順が本契約の条項と矛盾する場合、本契約の条項が優先されます。AAAの規則と手順に従って、電話または対面での審問を要求することができます。紛争の価値が10,000ドル以下の場合、仲裁人が対面でのヒアリングを行う正当な理由を見つけない限り、ヒアリングは電話によるヒアリングによって行われます。仲裁人は、法廷で利用できる請求を主張して、個々の当事者に損害賠償の裁定を下す権限を有します。仲裁人は、請求を主張する個々の当事者に有利な形でのみ、またその当事者の個々の請求に対する救済を提供するために必要な範囲でのみ、宣言的または差し止めによる救済を裁定することができます。

H. 仲裁地

お客様は、お客様の居住郡またはテキサス州ダラス郡でのみ仲裁を開始することに同意するものとします。トレンドマイクロは、お客様の居住国でのみ仲裁を開始することに同意します。

I. 費用と弁護士費用

75,000ドル以下の紛争の場合、トレンドマイクロは、仲裁人が根拠のないものであると判断した場合や仲裁人が提起した場合を除き、あなたがトレンドマイクロに対して開始した仲裁で発生した、あなたの申立費用の支払いを払い戻し、AAAの管理手数料および仲裁人の手数料と費用を支払います。不適切な目的。トレンドマイクロは、トレンドマイクロがお客様に対して開始する仲裁で発生したすべての申請手数料およびAAA管理手数料、ならびに仲裁人の手数料および費用を支払うものとします。75,000ドル以下の紛争が、仲裁人が任命される前にトレンドマイクロが行った最後の書面による和解提案(「トレンドマイクロの最後の書面による提案」)をお客様が拒否した後、仲裁で裁定に進み、仲裁人がお客様に有利な裁定を下した場合トレンドマイクロの最終書面による申し出よりも、トレンドマイクロは、裁定額または\$1,000のいずれか高い額に加えて、合理的な弁護士費用がある場合は2倍を支払い、あなたの弁護士が調査のために合理的に発生したすべての費用(専門家の証人費用および費用を含む)を払い戻します。仲裁人が決定した、またはお客様とトレンドマイクロが合意した、仲裁におけるお客様の請求の準備および追求。お客様が仲裁を開始する場合、トレンドマイクロは、仲裁人が仲裁が根拠のないものであるか、または不適切な目的で提起されたと判断した場合にのみ、AAAの管理手数料または仲裁人の手数料と費用、またはお客様が払い戻した申立手数料を求めるものとします。トレンドマイクロは、お客様に弁護士費用または経費を請求しません。75,000ドルを超える紛争の場合、AAA規則は、申請およびAAAの管理手数料、ならびに仲裁人の手数料および経費の支払いを規定します。手数料および経費は、紛争に関係する金額を決定する際には考慮されません。

J. 集団訴訟の権利放棄が違法または法的強制力がない場合

セクション27F(集団訴訟の放棄)の集団訴訟の放棄(私的司法長官訴訟の放棄を含む)が、司法、立法、またはその他のいずれによるかを問わず、紛争の全部または一部に関して違法または執行不能であることが判明した場合。その場合、セクション27の残りの段落はそれらの部分には適用されません。代わりに、紛争のこれらの部分は切り離されて法廷で進行し、残りの部分は仲裁で進行します。このセクションの「紛争」の定義は、本契約にも引き続き適用されます。お客様とトレンドマイクロは、本項に基づく法廷でのすべての手続きについて、米国テキサス州ダラス郡の州裁判所または連邦裁判所の専属管轄権および裁判地に取消不能な形で同意するものとします。

K. 仲裁合意の変更を拒否する権利

本契約にこれと矛盾する規定があるにもかかわらず、トレンドマイクロは、お客様が本ソフトウェアまたはプレミアムサポートサービスを使用する権限を与えられている間に第27条に変更を加えた場合(通知アドレスの変更を除く)、次の方法で変更を拒否できることに同意します。変更後30日以内に米国郵便でセクション27Cの住所に書面による通知を送信する。変更を拒否することにより、お客様は、変更を拒否する前の第27条の最新版に従って、当社間の紛争を非公式に交渉し、仲裁することに同意するものとします。

L. 可分性

セクション27F(集団訴訟の権利放棄)以外のセクション27およびそのサブセクションのいずれかの条項が違法または執行不能であることが判明した場合、その条項はセクション27から切り離されますが、セクション27の残りの段落は引き続き完全に有効であり、効果。セクション27Jは、セクション27F(集団訴訟の権利放棄)が違法または執行不能であることが判明した場合にどうなるかを述べています。

28.一般

本契約およびコンピュータの数とサブスクリプション期間に関する仕様は、お客様とトレンドマイクロの間の完全な合意を構成します。ソフトウェアおよび/またはプレミアムサポートサービスが、トレンドマイクロが署名した既存の書面による契約の対象となる場合を除き、本契約は、書面または口頭を問わず、本契約の主題に関する事前の合意または理解に優先します。本契約のいずれかの条項が無効であることが判明した場合、その発見は本契約の残りの部分の有効性に影響を与えません。トレンドマイクロは、本契約に基づく義務の一部または全部を適格な第三者またはその関連会社および/または子会社に譲渡または下請けすることができます。

29.サードパーティとオープンソース技術

本ソフトウェアには、特定のサードパーティまたはオープンソース技術が含まれている場合があります。お客様は、そのようなサードパーティまたはオープンソース技術の使用には、通常「Read Me」または「About」ファイルに記載されている別の条件が適用される場合があることを認めます。ソフトウェアで。そのようなサードパーティのテクノロジーの所有者は、それぞれのテクノロジーのすべての所有権および知的財産権を保持します。その場合、本契約は、お客様とこれらの第三者との法的関係には影響しません。トレンドマイクロとかかる第三者との関係は、ライセンシー / ライセンサーの関係です。

30.準拠法/TREND MICRO LICENSING ENTITY

北米

お客様が米国またはカナダにお住まいの場合、ライセンサーは Trend Micro Incorporated, 225 E. John Carpenter Freeway, Suite 1500, Irving, TX 75062 であり、本契約は、アメリカ合衆国テキサス州の法律に準拠します。

ラテンアメリカ

お客様がラテンアメリカ (ブラジル、コロンビア、または米国が通商を禁止している国以外) に所在する場合、ライセンサーは Trend Micro Latinoamérica, S. A. de C. V., Insurgentes Sur No. 813, Piso 11, Col. Nápoles です。 , 03810 México, D. F. Tel: 3067-6000 また、本契約はメキシコの法律に準拠します。 お客様がブラジルにお住まいの場合、ライセンサーは Trend Micro do Brasil, LTDA, Rua Joaquim Floriano, 1.120 - 2º andar, CEP 04534-004, São Paulo/Capital, Brazil であり、本契約はブラジルの法律に準拠します。 お客様がコロンビアにお住まいの場合、ライセンサーは Trend Micro Colombia, S.A.S., Calle 97ª# 9ª -50 of 503, Bogotá, Colombia であり、本契約はコロンビアの法律に準拠します。

ヨーロッパ (ロシアおよびトルコを除く) およびイスラエル

お客様がヨーロッパ (ロシアおよびトルコを除く) またはイスラエルに所在する場合、ライセンサーは次のとおりです。IDA ビジネスアンドテクノロジーパーク、モデルファームロード、コーク、アイルランド。ファックス:+353-217307ext.373。お客様がヨーロッパ (オーストリア、フランス、ドイツ、イタリア、スイス、英国を除く) またはイスラエルにお住まいの場合、本契約はアイルランド共和国の法律に準拠します。お客様が英国にお住まいの場合、本契約はイングランドおよびウェールズの法律に準拠します。お客様がオーストリア、ドイツ、またはスイスに所在する場合、本契約はドイツ連邦共和国の法律に準拠します。お客様がフランスに所在する場合、本契約はフランスの法律に準拠します。お客様がイタリアにお住まいの場合、本契約はイタリアの法律に準拠します。

ロシア、トルコ、中東 (イスラエルを除く) およびアフリカ

お客様がロシア、トルコ、アフリカ、または中東に所在する場合、ライセンサーは次のとおりです: Trend Micro DMCC、登録事務所を持つアラブ首長国連邦に組み込まれた有限責任会社 Unit 3602, Jumeirah Business Center 3, Jumeirah Lakes Towers, Dubai, United Arab Emirates に所在し、本契約は英国法に準拠します。

アジア太平洋 (日本以外)

お客様がオーストラリア、ニュージーランド、インド、マレーシア、フィリピン、またはタイに所在する場合、ライセンサーは次のとおりです: Trend Micro Australia Pty Limited, Level 15, 1 Pacific Highway, North Sydney, New South Wales, 2060 年、オーストラリア。お客様がオーストラリアまたはニュージーランドにお住まいの場合、本契約はオーストラリアのニューサウスウェールズ州の法律に準拠します。お客様がインド、マレーシア、またはフィリピンに所在する場合、本契約はシンガポールの法律に準拠します。お客様がタイにお住まいの場合、本契約はタイの法律に準拠します。

シンガポール、ベトナム、またはインドネシアにお住まいの場合、ライセンサーは次のとおりです。Trend Micro Singapore Pte Ltd., 8 Temasek Boulevard #09-04/05 Suntec Tower Three, Singapore. お客様がシンガポールまたはインドネシアに所在する場合、本契約はシンガポールの法律に準拠します。お客様がベトナムにお住まいの場合、本契約はベトナムの法律に準拠します。

お客様が香港、韓国、または台湾にお住まいの場合、ライセンサーは次のとおりです。Trend Micro Inc., 8F, No.198, Tun-Hwa S. Road, Sec. 2, 台北 106, 台湾。お客様が香港に所在する場合、本契約は香港の法律に準拠します。お客様が台湾にお住まいの場合、本契約は台湾の法律に準拠します。お客様が韓国にお住まいの場合、本契約は韓国の法律に準拠します。

トレンドマイクロ IoT セキュリティライセンス契約 つづき 必要なとき

お客様が中華人民共和国にお住まいの場合、ライセンサーは Trend Micro (China) Inc., 8th Floor, Century Ba-shi Building, No. 398 Huai Hai Zhong Road, Shanghai, China 20020 であり、本契約は 中華人民共和国の法律を遵守し、お客様は、本契約に関連する紛争は北京仲裁委員会に提出しなければならないことに同意するものとします。

日本

お客様が日本にお住まいの場合、ライセンサーは Trend Micro Incorporated (所在地: 151-0053 東京都渋谷区代々木 2丁目1-1 新宿 MAYNDSタワー) であり、本契約は日本の法律に準拠します。

国際物品売買契約に関する国際連合条約およびお客様の州または居住国の抵触法の規定は、どの国の法律の下でも本契約には適用されません。

31. 米国政府の制限付き権利

このソフトウェアは、DFARS 252.227-7014で定義されている「商用コンピュータソフトウェア」です。国防連邦調達規則 (DFAR)の対象であり、商用コンピュータソフトウェアおよび関連ドキュメントが、DFARSに準拠したトレンドマイクロの標準商用ライセンスに従って販売されている場合227-7202-1、商用製品その他すべての政府機関のお客様の場合、米国政府による使用、複製、または開示は、該当する場合、FAR52.227-19に規定された制限の対象となります。

32. 質問

ソフトウェアおよび/またはプレミアムサポートサービスについて質問がある場合は、<https://esupport.trendmicro.com/en-us/home/index.aspx>にアクセスしてください。

本契約に関するすべての質問は、legal_notice@trendmicro.comに送信してください。

本ソフトウェアは、知的財産法および国際条約の条項によって保護されています。無許可の複製または配布は、民事罰および刑事罰の対象となります。

エンドユーザー使用許諾契約(「EULA」)の原本は英語で作成されており、参照のみを目的として日本語に翻訳されています。翻訳が正確であるように心掛けておりますが、英語版と翻訳版の内容が異なる場合は、英語版に準拠するものとします。法的な契約としては原本のまま承諾いただくことをご了承下さい。

日本語への翻訳は2022年11月22日に最終更新されました。

ダイナミックドメインネームシステム ライセンス契約 必要なとき

=重要= 注意深くお読みください

このサービス契約(「契約」)は、Dynamic Domain Name System(「DDNS」)に関して、お客様(団体の個人)とVIVOTEK INC. の間の法的な契約です。下の「合意します。」とマークされたボタンをクリックすると、本契約の条項に拘束されることに同意したことになります。本契約の条件に同意しない場合は、サービスに登録しないでください。

1. 本サービスをご利用いただける場合

登録プロセスが完了すると、サービスの使用を開始できます。

2. サービスの利用方法

本サービスを使用するにあたり、お客様は次のことを行うものとします。

- 法に従うこと。
- 当社が提供するポリシーおよび、その他の通知に従うこと。
- サービスアカウントのパスワードを秘密にすること。

3. サービスを利用できない理由

本サービスを利用するにあたり、あなたは次のことをしてはなりません。

- 当社または当社の関連会社、再販業者、販売業者、およびベンダー、またはそれらの顧客に損害を与える方法でサービスを使用する。
- 本サービス(または本サービスに接続されたネットワーク)を損傷、無効化、過負荷、または損なうこと、または誰かによる本サービスの使用を妨害すること。
- サービスまたはサービスの一部を再販または再配布すること。

4. プライバシー

当社は、お客様によるサービスの使用を非公開と見なします。ただし、次の目的で、お客様のアカウントに関する情報にアクセスまたは開示する場合があります。本契約の違反の可能性を執行し、調査する。または当社、当社の従業員、顧客、または公衆の権利、財産、または安全を保護します。これにより、このセクションで概説されているアクセスと開示に同意したことになります。

5. 契約の変更

本契約を変更する場合は、変更が行われる30日前に少なくとも通知します。これらの変更に同意しない場合は、変更が有効になる前に、サービスの使用をキャンセルして停止する必要があります。サービスの使用を停止しない場合、サービスの使用は変更された契約に従うものとします。

6. 無保証

当社は、本サービスを無料で提供します。したがって、当社はサービスを「現状のまま」、「すべての障害を含めて」、「利用可能な状態で」提供します。当社は、本サービスの可用性または正確性を保証しません。当社は、明示的な保証、保証、または条件を提供しません。商品性、特定目的への適合性、および非侵害を含むがこれらに限定されない黙示の保証を除外します。一部の州または国では、黙示の保証に対する制限が認められていないため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。

7. 免責事項

当社は、本サービスを無料で提供します。したがって、直接的、間接的、偶発的、結果的、または懲罰的な損害を、当社、関連会社、または従業員から回復することはできません。

一部の州または国では、結果的または偶発的な損害に対する責任の除外または制限を認めていないため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。

8. 終了

当社は、理由の有無にかかわらず、本契約を終了し、お客様へのサービス提供を停止する場合があります。本契約の終了により生じたいかなる損害についても、当社は責任を負わないものとします。

9. 課題

当社は、お客様への通知の有無にかかわらず、いつでも本契約の全部または一部を譲渡することができます。ハードウェア製品および付随する資料を完全に譲渡しない限り、サービスまたはサービスの一部を使用する権利を譲渡することはできません。

10. 言語

本契約は英語で書かれており、参考のために他の言語に翻訳される場合があります。ただし、本契約の英語版のみがすべての点で支配するものとします。

11. 法律および裁判地の選択

本契約は、台湾の法律、またはお客様の現在の州または居住国の法律に含まれるかどうかにかかわらず、抵触法の条項に影響を与えることなく、台湾の法律に準拠し、台湾の法律に従って解釈されるものとします。お客様と当社は、台湾台北地方裁判所を、本契約に起因または関連する紛争について管轄権を有する第一審の裁判所として取消不能の形で指定します。

原本は英語で作成されており、参照のみを目的として日本語に翻訳されています。翻訳が正確であるように心掛けておりますが、英語版と翻訳版の内容が異なる場合は、英語版に準拠するものとします。法的な契約としては原本のまま承諾いただくこととご了承ください。

日本語への翻訳は2022年11月22日に最終更新されました。

AMR-NB規格

この製品は、AMR-NB 標準特許ライセンス契約に基づいてライセンスされています。

HEVC Advanceからのお知らせ

この製品は限定ライセンスで販売されており、次の3つの条件のそれぞれを満たす HEVCコンテンツに関連してのみ使用することが許可されています。

1. 個人のHEVCコンテンツ使用
2. 販売されていないHEVCコンテンツ使用
3. 製品所有者によって作成されたHEVCコンテンツ使用

ユーザーが第三者から注文または購入した、第三者によって作成された HEVC エンコードされたコンテンツに関連して、この製品を使用することはできません。HEVC でエンコードされたコンテンツに関連してこの製品を使用することは、上記の制限された使用権限に同意したものとみなされます。

H.264

この製品は、AVC 特許ポートフォリオ ライセンスに基づいて、消費者の個人的および非商業的使用のためにライセンスされています。AVC 規格に準拠したビデオのエンコード (「AVC VIDEO」)

個人的かつ非営利的な活動に従事する消費者によってエンコードされた、および/または AVC ビデオを提供するライセンスを取得したプロバイダーから取得されたAVCビデオをデコードします。ライセンスは付与されず、その他の使用について暗示されることもありません。

その他

VCCI規制について

この機器は、クラスB許容値を満足する機器です。クラスB機器は、主に住宅環境内での使用を目的としていますが、ラジオやテレビ受信機に接近して使用すると、受信障害が発生することがありますので、設置場所などに注意が必要です。

責任

- ①本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。
- ②本書の内容について万全を期して作成いたしましたが、万が一、ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- ③製品を運用した結果の影響については、②項にかかわらず責任を負いかねます。ご了承ください。

製品の譲渡または売却時のご注意

この製品を第三者に譲渡または売却する場合は、この製品に添付されているすべての物を、譲渡または売却してください。

項目	規格
イメージセンサー	1/2.9インチ CMOSセンサー
画素数	約200万画(1920×1080)
解像度	1920×1080、1600×904、1360×768、1280×720、640×360、480×272
最大フレームレート	30fps(1920×1080)
最大ストリーム	3ストリーム(同時配信)
撮影画角	水平：32～93°、垂直：18～50°
撮影照度	カラー：0.055Lux、白黒：<0.005Lux(IR LEDオン：0Lux)
シャッタースピード	1/5～1/32000秒
ワイドダイナミックレンジ	WDR Pro
露出制御	BLC、HLC、AE
SN比	68dB
ホワイトバランス	自動/手動
ノイズリダクション	2DNR/3DNR
リモートフォーカス	ズーム設定、フォーカス設定
プライバシーマスク	5箇所
映像設定	カメラタイトル、タイムスタンプ、カラー / 白黒、フリッカー、映像表示(反転、回転、ミラー)、IR制御、スマートIR、ホワイトバランス、明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、ガンマ補正、曇り除去
赤外線照射距離	最大30m ※
マイク	内蔵マイク
ONVIF	プロファイル G, S, T
ケーブル長	約0.2m
電源	PoE (IEEE802.3af Class 0)
消費電力	13W(赤外線LEDオン)/9W(赤外線LEDオフ)
使用温度範囲	⊖30℃～⊕60℃
防じん防水性能	IP66(適切な設置や防水処理が必要です)
外観寸法	134(H)×134(W)×104(D)mm
質量(重量)	約840g

※暗所で良好に撮影が可能な範囲は約10mになります。

パソコン

項目	規格
対応OS	Windows10、Windows11
対応ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome
再生プレーヤー	VLC media player

＝マスコ電工＝

本 社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80
技術相談  **0570-091119**
ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)
営 業 部 TEL名古屋(052)802-2244
受付時間 9～17時45分(土・日・祝日、当社休業日を除く)
インターネット www.maspro.co.jp